

令和3年度文部科学省委託事業

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

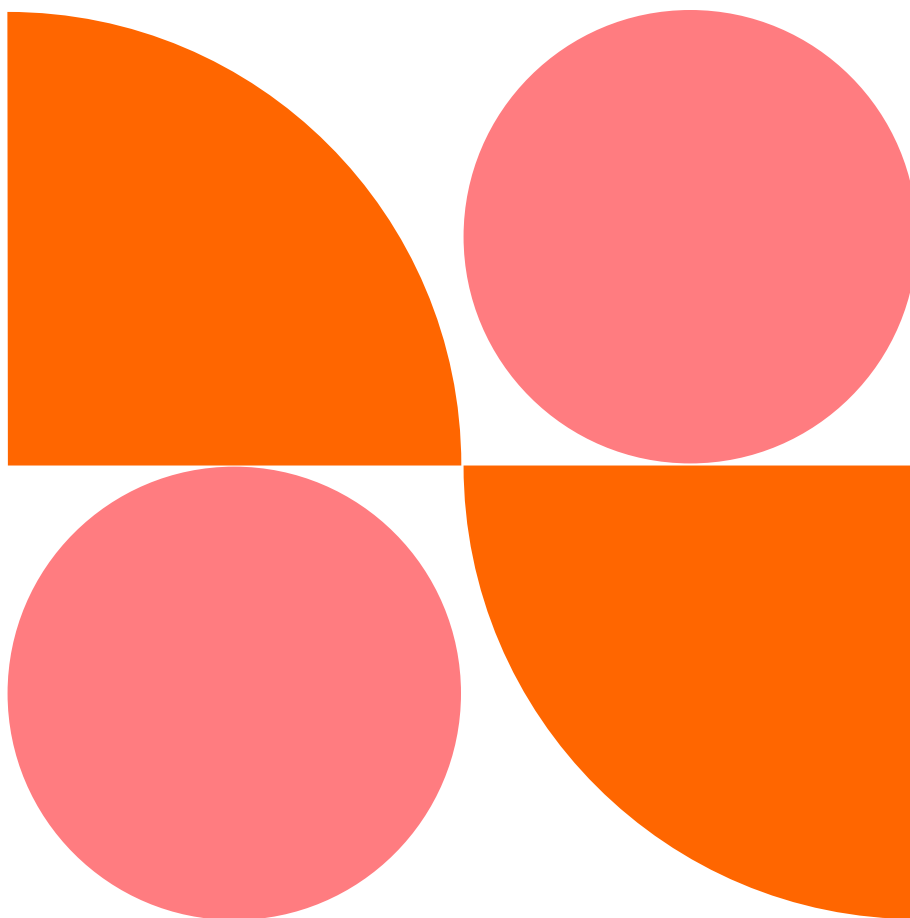
コロナ禍を踏まえた各地域における

外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備

大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

2021

成果報告書



一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会



2022年2月

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会(以下、大専各)では、2007年の留学生委員会発足から、様々な外国人留学生（以下、留学生）に関わる取組を行ってまいりました。特に留学生の専門学校教育に於いて『入学を考える、学ぶ、卒業後の進路としての就職まで導く』という入口から出口までの体系化に力を注いでまいりました。取組の一例としてベトナムやインドネシアなどの海外教育機関との積極的な交流を行い、海外における専門学校の認知・理解度を向上させ、大阪という地域特色を活かした留学生の良さを冊子にまとめた情報冊子「魅力発見BOOK」の制作、そして様々な情報を発信できる「留学生支援サイト」の運営を実行することができました。

これらの取組が実を結び、大阪の専門学校で学ぶ留学生数、そして受入れる専門学校数は大きく増えていきました。そしてそれは量的成果だけでなく、日本語教育機関・留学生採用企業といった関係各所との連携をさらに広め、研修会や交流会を定期的に開催できるまでの質的成果にもつながりました。

しかし2019年ごろから端を発した新型コロナウイルスの感染猛威は、世界中の至るところで大きな影響が出ています。社会的影響もさることながら、現在、日本では海外との往来が制限されており、留学生を取り巻く環境は大変厳しい状況になっています。そして留学生の新規入国の目途がたたない今、日本留学の受入れ窓口ともいえる日本語教育機関の疲弊は相当のものであり、かつ現在の状況が、海外から日本留学希望者の意欲を削ぐ事につながり、それが将来的な日本留学離れにつながる恐れが十分ありえます。そういった中で本委託事業である「専修学校留学生の学び支援推進事業」は、コロナ禍での留学生支援をより活性化していく為に必要な事業であると考えおります。前述のような懸念点は1学校ではなかなか解決することは出来ません。だからこそ専門学校の団体組織として「まとまり」をもって活動する意義と重要性をあらためて見つめなおせる事業が必要です。

留学生は、専門学校をはじめとする高等教育機関で高度な専門性・技術や日本語能力を身につけるのみならず、日本の文化を深く理解する貴重な人材です。そのために職業教育の担い手である専門学校がお互い手を取り合い、さらなる留学生への支援・教育に一層の理解を深めていくことをここに強く願います。

末筆ながら、本事業にご協力を頂きました関係各位の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、今後も引き続き宜しくご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年2月

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会
留学生委員会
委員長 山下 裕貴

目 次

はじめに	01
目次	02
第1章：委託事業概要	03
1. 委託事業名	
2. 委託事業実施期間	
3. 委託事業趣旨・目的	
4. 実施する取組の具体的内容	04
第2章：個別事業の実施内容	09
1.今年度に取り組んだ具体的な内容について	09
（1）取組別の具体的内容	09
①「留学生支援サイト」の多言語化、年次情報更新	09
②留学生 映像コンテンツの制作・配信	11
②-1「留学生のプレゼンテーション ～私が想い描く夢～」	
②-2「大阪の専門学校で学び、社会で活躍する卒業生インタビュー」	
②-3「専門学校紹介動画」字幕4言語追加	
②-4 卒業生／人事担当者のインタビュー動画	
③SNSを活用した情報発信	13
④海外教育機関へのオンライン出前授業	15
⑤進学情報カードおよび留学生支援サイトへの誘引ツールの制作・配布	16
⑤-1留学生受入れ校一覧 専門学校進学情報カード	
⑤-2留学生支援サイトへの誘引ツール	
留学生採用検討企業向け・日本語教育機関向け 2種	
⑥市場動向調査	18
専修学校・留学生・日本語教育機関・企業を対象とした 「留学生に関する実態把握アンケート調査」	
⑦日本語教育機関との連携事業	23
「第1回関西 日本語学校・専門学校 情報共有会」	
⑧専門学校教職員向けオンラインセミナー	24
⑧-1 今こそ考える留学生支援 -コロナ禍における専門学校のチャレンジ- 本音で語り合う留学生の就職	
⑧専門学校教職員向けオンラインセミナー	25
⑧-2 今こそ考える留学生支援 -コロナ禍における専門学校のチャレンジ- 観光業界の今とこれから 留学生の活躍を考える	
⑨企業向け留学生採用セミナー	26
テーマ：外国人留学生採用オンラインセミナー ～企業と専門学校がつながり、意見交換ができる交流会～	
⑩企業×専門学校キャリア担当者のマッチングセミナー	28
テーマ：企業と専門学校つながる就職セミナー	
（2）その他報告事項	29
⑪成果報告書	
⑫委託事業成果PR動画	
2.事業終了後に実施予定の取組及び成果の普及方策	29
3.事業実施に伴うアウトプット	30
（1）実施一覧 （2）アンケート結果	
4.事業の実施体制	54

第1章：委託事業概要

第1章 委託事業概要

1. 委託事業名

令和3年度文部科学省委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備

大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2021

2. 委託事業実施期間 2021年9月16日～2022年2月28日

3. 委託事業趣旨・目的

(1) 事業の趣旨・目的について

ポストコロナで世界の留学生から選ばれる「大阪の専門学校」になるために

～職業教育を知ってもらう・理解してもらう・広めてもらう～

大阪府専修学校各種学校連合会(以下、大専各)は、これまで留学生支援として『入学を考える、学ぶ、就職まで導く』という入口から出口までの体系化に力を注いできた。国内外で活動を行ってきた結果、大阪の留学生を受入れる教育機関数、留学生数は年々増加していった。しかし2020年、コロナ禍は社会全体を大きく変革させた。こと留学は国と国の行き来ができないことから完全に分断された。真っ先に日本留学の窓口ともいえる日本語学校が危機的状況になり、今後は専門学校・大学へと必ず影響が広がってくる。順調に留学生数は増え、かつ卒業後の就職実績も着実に積みあがっていた中で激震がおきたわけである。そういった中で欧米などワクチン先進国は、早期の経済活動再開にむけて既に積極的に動いている。それは留学生誘致においても同様で、まだ留学生の受入れが再開していない日本はこのままだと大きな遅れをとってしまう。だからといって専門学校1校1校が闇雲に活動しても大きな成果は期待できないだろう。そこで本事業を通して大専各として組織的活動をしっかりと行っていきたい。

大専各の一番の特長は「まとまり」だと言える。分野の違う様々な専門学校が集まり、日本語学校・企業・団体・行政までが一緒になり留学生支援を行ってきたという自負がある。これまで培ってきた「まとまり」をより強固に、「オール大阪」的視点で進める意義は十分ある。特に、大阪の専門学校・企業の多様性を活かし、就職支援を大阪留学の特徴に高めることで好循環を生み出すことを目指していきたい。大阪には2025年大阪・関西万博の開催が控えている。こういった明るい話題も含めてオール大阪的視点で本事業を取り組んでいく。

(2) 当該地域において取組を進める意義

i) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域)

専門学校との親和性、日本企業の経済進出、日本への関心度などを鑑みて、「実績の高い国」「将来性のある国」「開拓国」の視点でベトナム、インドネシア、オーストラリア3国を選定。

ターゲット国	2020年人口	2030年予測人口	主な選定理由
ベトナム	9730万人	1億500万人	・大阪府内の留学生数では、専門学校および日本語教育機関に在籍する留学生のうち、ベトナム人学生が最多。 ・これまでもターゲット国として様々な連携事業を行い、交流を深めてきた。
インドネシア	2億7351万人	2億9500万人	・現地での日本語学習者が中国に次いで2番目に多い。 ・2030年人口は世界4位(1インド、2中国、3米国) ・2050年GDPは世界4位(1中国、2インド、3米国)
オーストラリア	2550万人	2800万人	・現地での日本語学習者が韓国に次いで4番目に多い。 ・日本の専門学校に相当する公立高等教育機関TAFE (Technical and Further Education) があり、職業教育への理解が得やすい可能性が高い。

第1章：委託事業概要

ii) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野

留学生の量的拡充と質的充実を図っていくうえで、網羅性が必要であることを大前提に、全分野をターゲットとするものとして、便宜上、大阪府内の留学生数上位3分野「文化・教養」「工業」「教育・社会福祉」に設定。

文化・教養分野	工業分野	教育・社会福祉分野
---------	------	-----------

(参考) 2020年度 大専各会員校の分野別留学生数

分野	工業	農業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養	全体
人数	1,524	43	204	534	672	538	210	4,251	7,976

先の「専修学校グローバル化対応推進支援事業」をはじめ、これまでの委託事業等に組織的に取り組んできた結果、府内の専修学校の在籍留学生数は年々増加（※1）。また、受入れだけでなく留学生の日本国内での就職実績も着実に成果をあげている。しかしコロナ禍の影響を受け日本語教育機関の受入れ数が激減し、今後これが高等教育機関にも拡大していく中で、改めて質的充実とともに量的拡充にも注力する意義は大きい。

大阪には、産官学が協力して『オール大阪』で留学生を支援する組織「留学生コンソーシアム大阪」が設立された。掲げるKGIの一つが「2030年度に府内留学生数5万人（経済波及効果893億円）」であり、大専各としてもこれに即して継続して量的拡充にも取り組んでいくものとした。

この考えのもと、ターゲット国は専門学校との親和性、日本企業の経済進出、日本への関心度などを鑑み、「実績の高い国」「将来性のある国」「開拓国」の視点で3国を選定した。ベトナムは府内の専門学校および日本語教育機関への留学生数が最多で、これまでもターゲット国として様々な連携を行い、交流を深めてきた。インドネシアは令和元年度まで府内留学生数は増加傾向にあり、人口予測や日本語学習者数（※2）から将来性に期待できる。オーストラリアは、現状では留学生数はまだまだ少ないが、日本語学習者の多さと職業教育への理解などの観点から、開拓にチャレンジする価値があると考えた。また、ターゲット分野は府内の留学生数上位3分野に設定するが、留学生の量的拡充と質的充実を図るうえで網羅性が必要なため、従来同様にターゲット分野にもれた留学生を蔑ろにすることなく努めた。

※1 H29からR2にかけて168%増（JASSO「外国人留学生在籍状況調査」）

※2日本語学習者数 1中国2インドネシア3韓国4オーストラリア（国際交流基金「2018年度日本語教育機関調査」）

4. 実施する取組の具体的内容（事業計画時の内容）

（1）取組別の内容

〈A〉誘致広報（入学前）

「大阪の専門学校」に誘致広報するため、このコロナ禍に適したデジタルマーケティングを駆使した展開

コロナ禍の影響により留学生受入れ数が激減している現況からの回復を目指し、大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起を図り、日本留学希望者の母集団を拡大し量的拡充を目指す。

留学前に参考にする情報資源として最も高いのはインターネットやSNSといった「デジタル媒体」であり、次いで、親族や友人・知り合いからの紹介、つまり「口コミ」が重要視されている。これらの調査結果を踏まえ、「デジタル媒体」と「口コミ」に重点を置いた誘致広報施策を展開する。具体的には後述の通り。

第1章：委託事業概要

- 1) 留学生の入口から出口までを繋ぐ情報発信プラットフォーム「大専各留学生支援サイト」を多言語化し、来日前学生への情報提供における基幹メディアとして機能させる。
(KPI/月間セッション数：1,500 海外からの月間セッション数：500 PV/セッション数：4.0 月間直帰率：50%以下)
- 2) 映像コンテンツを制作。職業教育への理解促進や日本への進学・就職意欲を喚起、ひいては企業の採用意欲の啓発を目的に展開する。
(KPI/年度末合計再生回数：5,000 平均再生時間：3：00)
- 3) ターゲット国ではSNSマーケティングが効果的なため、SNSを活用し情報発信。
(KPI/実施時期のWEBサイトの数値状況を成果指標とし分析)
- 4) オンラインを駆使し海外現地の日本語教育機関に「出前授業」を提供。これまで培ってきた繋がりを活かし現地に専門学校の授業を提供することで日本留学の動機付けを拡げる。
(KPI/授業受講者数：50名)
- 5) 留学生支援サイトをより多くのユーザに閲覧してもらうため、国内向けにも誘引施策が必要。サイトへの誘引を促す広報ツールおよび、専門学校の留学生受け入れ状況を一覧化した情報誌を作成し、日本語教育機関、企業、行政、在日領事館等の関係機関へ配布する。
(KPI/配布時期のアクセス数増加量と対象コンテンツのPV数を成果指標とする)

〈B〉教育支援（在学中[教育指導、在籍管理、生活支援サポート]）

世界の留学生から選ばれるため「職業教育」をブラッシュアップかつ誘致広報をフォローしていく活動。

誘致広報をより効果的にすること、留学生に対する職業教育や支援の質向上、そしてオンライン学習に係るコンテンツ開発の基礎作りを目的として、以下の事業に取り組む。

- 1) 課題や取り組むべき内容の解像度を上げ、誘致広報・自己研鑽・啓蒙の効果を高めるため、留学生を取り巻くステークホルダーを対象とした市場動向調査を実施。特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により留学生の置かれている状況が激変している中で、それぞれの課題を正確に捉えることで、団体として解決策を獲得しステークホルダーにフィードバックし環境改善に寄与した。成果は留学生支援サイトでの公開と誘引ツール等での周知、専門学校および日本語教育機関教職員向けセミナーや企業向けセミナーでの講演、結果を基とした専門学校教職員セミナーでの解決策の考察、「留学生支援コンソーシアム大阪」等で共有・報告する。
(KPI/アンケート回答数：専修学校120校、留学生1,000名、日本語教育機関60校、企業500社)
- 2) 日本語教育機関との連携したセミナーを開催。オンラインを用いて海外現地に教育を提供する事は重要だが、現地の通信環境やリテラシー等の課題があり、母国にしながら専門学校の入学条件となるJLPT N2相当の日本語能力まで育成することは実情としては難しい。そのため、誘致した留学生を受け入れる日本語教育機関と連携した活動が重要であり、日本語教育機関における職業教育理解促進と相互のフォローアップは必要不可欠である。
(KPI/参加者数：50名)
- 3) 留学生支援における課題や解決策等を、専門学校間で情報共有・ノウハウ共有し、分野を超えた知見を得ることを目的として研修会を実施した。オンラインを活用し広域から参加可能にすることで、専門学校全体の底上げに繋がるよう展開する。
(KPI/3回開催参加者数：各130名)

〈C〉就職支援（就職支援等）

「職業教育」の成果のひとつであり、日本留学の大きな特徴。留学生、企業が安心できる環境を整備。

留学生、企業が安心できる環境を整備すべく、「就職支援」として企業に対し留学生の人材として採用する意義を啓発し留学生採用意欲を向上する活動を展開した。同時に、採用機会・求人の確保といった実利を目指す事業を行う。

1)企業向け留学生採用セミナーを開催し、留学生採用意欲向上を目指す。現在コロナ禍による幸先不透明な景気状況により、多くの業界では採用活動が縮小傾向にあり、留学生の就職支援として企業との関係性をより強化していく必要がある。その為には、このような状況だからこそ専門学校の職業教育は高水準であり、学んでいる留学生の質が高いということをPRできる場が必要だと考えた。そこで改めて、国際化や海外進出にも重要な役割を担うこと、即戦力足り得ること、また社内の多様性の実現など様々な課題に応える貴重な人財となることを啓蒙・啓発していく。

(KPI/参加者数：100名)

2)留学生の就職を実現するため“具体的な求人を”開拓・強化する目的のため、「企業人事担当者と専門学校キャリア担当者の接触機会」を設ける。多数の専門学校キャリア担当者、多数の企業採用担当者の参加を促し、個別の説明・質問についてオンラインを活用して体系的に実施し、専門学校の留学生にとっての就職先および、専門学校への新規企業からの求人拡大、戦術づくりや目標達成に資する機会とする。また、「留学生支援コンソーシアム大阪」により、国際学生の日（11月17日）に合わせて留学生が主体となる様々なイベントを実施する「留学生ウィーク」が計画されており、この取り組みも留学生ウィークの一環として実施することで、大阪全体の留学生支援の一端を担う。

(KPI/参加者数：企業100社 会員校150校（名）)

（2）前述（1）の取組に付随して実施する取組（実態調査を含む。）

1. 海外現地教育機関との連携

大専各ではこれまで、先の「専修学校留学生就職アシスト事業」「専修学校グローバル化対応推進支援事業」のもと、日本留学と専修学校の職業教育理解を促進すべくベトナムをはじめとした海外現地教育機関と連携し交流を深めてきた。

具体的には、海外視察と現地教育機関との協議、職業教育理解促進セミナーの開催、現地教育機関での出前授業の実施、来日招聘と視察受入といった取組であり、直近でも海外現地教育機関との連携は活用している。令和3年5月27日に、留学生受入れのための日本語教育機関とのネットワーク構築を目的に大専各主催で開催した「日本語教育機関とのマッチングセミナー（オンライン開催）」においては、全国から30校の日本語教育機関が参加し、うち、海外現地から国立ホーチミン市師範大学（ベトナム）、タマサート大学（タイ）、帝京マレーシア日本語学院（マレーシア）にも参加いただき、大専各会員校と具体的な情報交換を図っている。この通り、これまで築いてきた繋がりを十分活用し事業を展開していく。

2. 三か年計画として段階的に大きな成果を目指す

令和3年度は「誘致広報」に重点を置き、大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起を図り、日本留学希望者の母集団を拡げることと並行し、令和4年度に本格的に取り組む「教育支援」に向けて検証・検討期間とする。具体的には、海外現地への遠隔授業や日本での

第1章：委託事業概要

就職に繋がる教育的取組について、市場調査や教職員セミナー、ワーキング会議での議論等を基に取り組むべき内容を固め、礎を築く。

令和4年度は留学生の母国内におけるオンライン学習に係るコンテンツ開発等、入国前の学びの保証の実現を目指す「教育支援」に重点を置く。具体的内容は引き続き検討中であるが、例えば海外現地へのオンライン出前授業の拡充、教材開発、来日前学生に将来像を示すスピーチコンテスト、職業教育国際シンポジウムといった事業を展開し、来日前の学習環境の整備に取り組む。また、拡充した教育支援を広く提供するため、「誘致広報」は継続して積極的に実施する。令和3年度に作成した海外展開用の誘致広報素材を十分検証した上で活用し、効率的・効果的に計画。

そして令和5年度は集大成として「就職支援」を日本留学・大阪留学の特徴としてアジアに誇れる水準に高める活動年度とする。就職支援を大阪留学の特徴に高めることは、短期の成果だけでなく留学生の母国における“日本留学予備層”を育てる「留学エコシステム構築【留学意志決定後の留学誘導だけでなく、先行して予備軍を耕し動機づけ育てていく概念。事前教育等の対象を高校やコミュニティにまで遡り、同時に成功事例を啓蒙する。この中から留学につなげ、その事例をまた予備軍育成に役立てサイクルを回すことで効率的・継続的・低コストな循環を生み出す】」につながる。

このように、三か年を通して「誘致広報」「教育支援」「就職支援」を推進し、大きな成果に繋がるサイクルを生み出すことを目指す。

(3) 今年度に取り組む具体的な内容について

取組の具体的な内容は、前述に記載しているが、各取組を俯瞰視すると以下のような体系化した流れとなる。

ポストコロナで世界の留学生から選ばれる「大阪の専門学校」になるために
～職業教育を知ってもらう・理解してもらう・広めてもらう～

大専各で既に取り組んでいる



(4) 事業実施に伴うアウトプット（事業計画時）

<誘致広報>

- ①留学生支援サイトの多言語化
- ②留学生映像コンテンツの制作・配信
 - ・留学生による大阪留学案内動画
 - ・専門学校紹介動画の4言語字幕対応
 - ・留学生によるプレゼンテーション動画 10名
 - ・卒業生／人事担当者のインタビュー動画 10名
- ③SNSを活用した情報発信
- ④オンライン出前授業アーカイブ映像
- ⑤進学情報カードおよび留学生支援サイトへの誘引ツールの制作・配布
 - ・留学生採用検討企業向け誘引ツール
 - ・日本語教育機関向け誘引ツール
 - ・留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード

<教育支援>

- ⑥市場動向調査
 - ・専修学校・日本語教育機関・企業・留学生へのアンケート調査および分析報告書
- ⑦日本語教育機関との連携事業 アンケート集計報告
- ⑧専門学校教職員向けオンラインセミナー アンケート集計報告（3回）

<就職支援>

- ⑨企業向け留学生採用セミナー アンケート集計報告
- ⑩企業×専門学校キャリア担当者のマッチングセミナー アンケート集計報告
- ⑪成果報告書
- ⑫事業成果PR動画

1.今年度に取り組んだ具体的な内容について

(1) 取組別の具体的な内容

<A.誘致広報>（入学前）

①「留学生支援サイト」の多言語化、年次情報更新

大専各留学生支援サイトの現況（解析期間：～2022月1月31日まで）

<https://study-osaka.com/>

セッション数	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021	2354.30	1243	1613	2251	2200	1695	2212	3764	3130	2505	2930		
2020	1152.83	667	608	842	907	777	1307	1567	1806	1321	1268	1133	1631
2019	1032.67	933	750	706	872	788	1239	1738	1244	1072	1104	1046	900
2018	933.25	1181	894	1104	1003	1086	802	973	595	673	1238	760	890
2017	994.25	767	985	1101	972	840	940	992	982	863	950	1142	1397

海外からのセッション数	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021	364.30	173	177	296	579	244	302	393	532	433	514		
2020	119.00	35	38	66	108	51	88	93	122	95	88	140	504
2019	130.75	260	117	145	159	137	73	131	141	148	97	92	69
2018	137.75	109	77	161	91	374	96	139	72	62	104	65	303
2017	97.58	75	135	68	83	69	66	115	77	83	73	201	126

PV数/セッション	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021	2.29	2.38	2.46	2.07	2.29	2.4	2.01	2.71	2.53	2.07	2.02		
2020	3.40	3.34	2.55	3.01	3.47	5.72	3.35	4.18	3.27	3.25	3.05	3.31	2.33
2019	3.18	2.01	1.82	1.65	3.85	2.96	3.27	4.42	4.68	3.3	3.43	3.44	3.3
2018	2.14	1.73	1.65	1.95	2.01	2.16	2.35	2.91	2.85	2.19	1.76	2.19	1.92
2017	1.58	1.63	1.57	1.7	1.46	1.38	1.92	1.55	1.45	1.59	1.42	1.51	1.8

直帰率	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021	68.0%	68.38	66.15	68.1	55.32	69.2	72.06	65.33	69.27	72.81	73.69		
2020	58.2%	57.57	62.83	62.23	62.18	53.93	56.69	54.69	57.2	57.61	60.49	60.72	52.05
2019	61.1%	76.42	71.6	75.78	64.91	64.21	53.27	41.66	55.14	58.68	56.25	57.07	58.56
2018	70.7%	82.73	80.65	78.08	76.67	74.03	68.7	52.62	50.25	61.81	77.95	68.55	76.29
2017	81.4%	81.36	82.44	79.47	82.2	83.21	79.15	81.65	83.71	81.23	83.47	78.28	80.89

黒太文字が新サイトでの数値

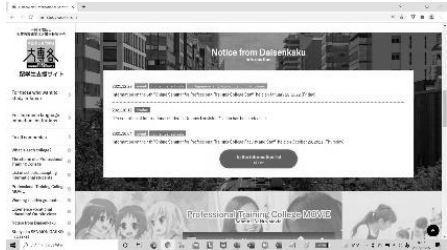
■ サイト全体の概況

- ・ イベント告知関連の閲覧が落ち着いた後も、変わらず高い数値を維持している。
- ・ TOPページと受入れ校一覧の直帰率はそれぞれ50%前後と低く、流入数、PV数も良好。
- ・ 「データで見る外国人留学生」が閲覧開始数トップながら直帰率85.3%と高く、全体の直帰率を上げる要因になっている。

■ 多言語化の概況

- ・ 多言語対応後の10月以降、海外からの流入が増加。
- ・ 英語、中国語、ベトナム語の閲覧は大きく増えているが、他の言語は大きな変化はない。
- ・ 中国語（簡体字・繁体字）、ベトナム語、インドネシア語は現地からの閲覧が多く、英語は様々な国から閲覧されている。ミャンマーやネパールはほぼ日本からの閲覧。
- ・ 前年度21カ国（地域）からの閲覧から、今年度49カ国に増えている。
- ・ 11月のFacebookからの流入は79。ほぼSNS運用によるベトナムからの流入。

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	①「留学生支援サイト」の多言語化 年次情報更新 ①ー1 サイト全体の10言語対応 ①ー2 年次情報更新
2.目的・概要	留学生の入口から出口までを繋ぐ情報発信プラットフォーム「大専各留学生支援サイト」を多言語化し、日本にいる留学生の利便性の向上に加え、来日前学生への情報提供における基幹メディアとしても機能させる。
3.広報手法	自動翻訳システムを活用したサイトの多言語化
4.広報対象	海外向け・国内向け
5.実施内容	①-1サイトの多言語化 サイト全体の10言語対応（9月29日より実装） （英語／簡体字／繁体字／ベトナム語／インドネシア語／韓国語／ネパール語／ミャンマー語／タイ語） ①-2 年次更新 「留学生受入れ校一覧」「専門学校MOVIE」「働く・活躍する卒業生」など各種コンテンツを最新情報に更新。 図1：言語切り替えボタンを設置  図2「グローバルナビゲーション」「お知らせ」はもちろん画像以外はすべて翻訳 
6.KPI、KPIの達成状況	1)KPI ①月間セッション数：1,500 ②海外からの月間セッション数：500 ③PV/セッション数：4.0 ④月間直帰率：50%以下 2)KPIの達成状況（※今年度事業契約後の2021年10月～2022年1月の平均値として） ①月間セッション数：3,082 ②海外からの月間セッション数：468 ③PV/セッション数：2.33 ④月間直帰率：70.3%
7.構成員	57ページに掲載
8.成果、実施による効果	・多言語化により多様な国と地域・言語から海外流入が拡大した。 ・各種コンテンツの更新と充実によりセッション数が大きく向上した。
9.新に健在化した課題	・セッション数の増加に比例してセッション当たりの平均PV数と直帰率数値が前年比で悪化 海外ユーザと検索エンジンからの流入数が増えていることを背景にセッション数が増加した結果、セッション当たりのPV数や直帰率が前年比で悪化している。検索エンジンからの流入は特定のページ（「データで見る外国人留学生」）に集中しており、留学生関連の数値データに高い関心が伺える反面、セッション当たりのPV数や直帰率が悪く、平均を押し下げている。 ・一部コンテンツのセッション数の伸び悩み 「留学生受入れ校一覧」や「データで見る外国人留学生」は、セッション数が増える一方、「専門学校MOVIE」や「働く・活躍する卒業生」などのコンテンツのセッション数が伸び悩んでいる。要因として、ランディングページとしての流入数に大きな差があり、流入絶対数とサイト内誘導に課題がある。
10.本事業終了後の目指すべき指標	・ターゲットごとに最適化した導線の見直し まだまだ認知されていないコンテンツもあるものの、コンテンツ自体は充実しているものとする。各コンテンツTOPのSEO対策を行う一方で、サイト内動線を見直し、ターゲットごとに最適化した見せ方を検討する。特に企業や海外閲覧者を対象としたコンテンツでのセッション当たりのPV数、直帰率の改善に取り組む。 ・「自走できるサイト」をめざす 誘引ツールやイベント開催に依ることなく、通年で留学生本人、日本語学校、専門学校、企業などの各ステークホルダーに見てもらえるサイトをめざす。具体的には、特に渡日前留学生と留学生採用企業を対象としたコンテンツの更なる充実と、会員校からの情報収集と発信する仕組みを構築する。

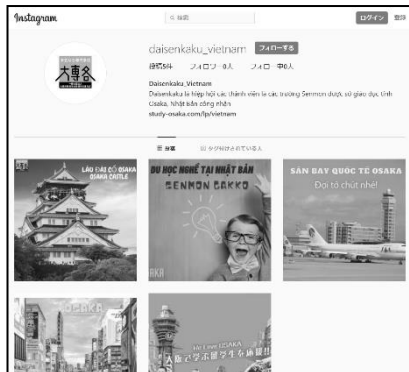
第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	②留学生 映像コンテンツの制作・配信 ②-1「留学生のプレゼンテーション ～私が思い描く夢～」 ②-2「大阪の専門学校で学び、社会で活躍する卒業生インタビュー」 ②-3「専門学校紹介動画」字幕4言語追加 ②-4 卒業生／人事担当者のインタビュー動画
2.目的・概要	職業教育への理解促進や日本への進学・就職意欲を喚起、ひいては企業の採用意欲の啓発を目的に、様々なシーンで活用できる映像コンテンツを制作。
3.広報手法	動画
4.広報対象	海外向け・国内向け
5.実施内容	②-1「留学生のプレゼンテーション ～私が思い描く夢～」 10校（字幕あり・なし） ＋ダイジェスト版1本 （参加校） 大阪総合デザイン専門学校（インドネシア）、清風情報工科学院（ベトナム）、大阪文化国際学校（インドネシア）、関西外語専門学校（中国）、日本メディカル福祉専門学校（中国）、森ノ宮医療学園ウェルランゲージスクール（インドネシア）、辻学園調理・製菓専門学校（ベトナム）、大阪文化服装学院（中国）、大阪調理製菓専門学校（中国）、大阪工業技術専門学校（ポルトガル） ②-2「大阪の専門学校で学び、社会で活躍する卒業生インタビュー」7校 ＋ダイジェスト版1本 （参加校） 修成建設専門学校（マレーシア／㈱コンパス建築工房）、エール学園（ベトナム／畑ダイカスト工業㈱）、大阪YMCA国際専門学校（ベトナム／インターコンチネンタルホテル大阪）、ECCコンピュータ専門学校（中国／㈱アウラ）、ホスピタリティツーリズム専門学校大阪（台湾／㈱JR西日本交通サービス）、大阪バイオメディカル専門学校（台湾／㈱北岡本店）、駿台観光＆外語ビジネス専門学校（ネパール／ハイアット リージェンシー 大阪） ②-3「専門学校紹介動画」字幕4言語追加 （インドネシア語、ベトナム語、簡体字、繁体字） ②-4 卒業生／人事担当者のインタビュー動画 33本 ■動画    ②-1「留学生のプレゼンテーション ～私が思い描く夢～」 （左上） ②-2「大阪の専門学校で学び、社会で活躍する卒業生インタビュー」 （中央） ②-3「専門学校紹介動画」 （右上） 「大専各公式Youtubeチャンネル」にて動画配信中。 https://www.youtube.com/channel/UCOZ5nXuzcDaZBnu3QtLfUIQ/videos ※今年度成果物以外の動画も本チャンネルにて配信を行っています。  

第2章：個別事業の実施内容

6.KPI、KPIの達成状況	1)KPI ①月間セッション数：1,500 ②海外からの月間セッション数：500 ③PV/セッション数：4.0 ④月間直帰率：50%以下 ⑤動画視聴 再生回数：5,000/平均再生時間3：00 2)KPIの達成状況（※今年度事業契約後の2021年10月～2022年1月の平均値として） ①月間セッション数：3,082 ②海外からの月間セッション数：468 ③PV/セッション数：2.33 ④月間直帰率：70.3% ⑤動画視聴 再生回数：3,842/平均再生時間1：29
7.構成員	57ページに掲載
8.成果、実施による効果	・現役生のプレゼンや卒業生の活躍により、特に企業に対して外国人専門学校生の能力の高さが訴求できた。 ・留学生プレゼンの字幕版や、専門学校紹介の多言語字幕版により、渡日前を含む留学希望者にも伝えやすくなった。 ・企業向けセミナーや海外現地広報で活用されるなど、外国人専門学校生の理解促進に役立った。
9.新たに顕在化した課題	・新規視聴者の獲得 視聴者から高い評価を得られているものの、公開直後と比較すると視聴数が限定的である。告知方法や導線の見直しの必要がある。
10.事業終了後の目指すべき指標	・より多くのターゲットに視聴してもらうためにできることは？ 優秀な留学生を採用することは企業にとっても有益であり、専門学校の留学生が優秀であることの周知は外国人材の採用促進につながる。これは留学生のニーズとも合致することであり、日本留学を促進するものと言える。以上から映像コンテンツのターゲットとしては、企業に重点をおき、大専各が培ってきた連携団体とのつながりをより強固にし視聴機会の拡大をめざす。また、基幹サイトである留学生支援サイト上での動画視聴を増やすことを目的に導線の見直しを検討する。

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	③SNSを活用した情報発信												
2.目的・概要	ターゲット国ではSNSマーケティングが効果的なため、SNSを活用し情報発信。大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起を図り、日本留学希望者の母集団を拡大（大専各留学生支援サイトへの誘導・SNS閲覧数を中心に効果検証）。												
3. 対応ソーシャルメディア	Facebook・Instagram												
4. 対象国および対応言語	ベトナム（ベトナム語）、インドネシア（インドネシア語）、オーストラリア（英語）												
5.実施内容	◆SNS配信ページQRコード（2021年11月1日より配信スタート） <table><tr><td>ベトナム Facebook</td><td>ベトナム Instagram</td><td>インドネシア Facebook</td><td>インドネシア Instagram</td><td>オーストラリア Facebook</td><td>オーストラリア Instagram</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ■投稿頻度：年間各120記事目安に、週2から3回の頻度で記事を掲載。 （動画なども掲載）※現地の学事スケジュール等に応じて投稿頻度調整 ■投稿内容： ①会員校からの情報提供。 ②大阪の時事、留学情報、観光情報など（公的機関からの発信情報収集・協力団体からの情報提供）。 ③大専各留学生支援サイト掲載情報の転載。 ■投稿記事： 会員校から投稿記事を募集。 指定フォームからの記事原稿（テキスト・画像データなど）を各国語に翻訳のうえ適宜投稿。 ※Facebook・Instagram共通。 ■内容例： ・自校で学んでいる留学生の紹介（インタビュー、学生の作品、受賞者など） ・日本で活躍している卒業生の紹介・自校の活動の紹介。 ・留学生が参加しているイベントの紹介 ・自校のアピール情報（施設、活動、連携先、クラブなど）・学校に関わるニュース、最新情報 など。	ベトナム Facebook	ベトナム Instagram	インドネシア Facebook	インドネシア Instagram	オーストラリア Facebook	オーストラリア Instagram						
ベトナム Facebook	ベトナム Instagram	インドネシア Facebook	インドネシア Instagram	オーストラリア Facebook	オーストラリア Instagram								
													
	 												

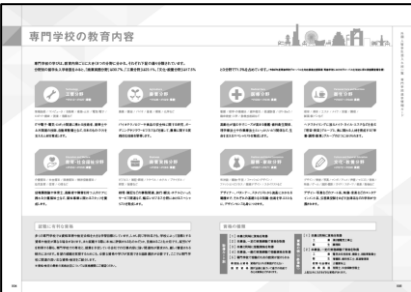
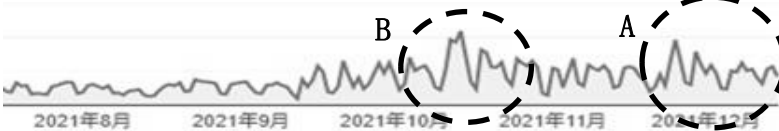
第2章：個別事業の実施内容

6. KPI、 KPIの達成状況	①KPI WEBサイトの数値状況を成果指標（大専各留学生支援サイトへの誘導・SNS閲覧数を中心に効果検証）。																								
	②KPIの達成状況（期間：2021年11月1日～12月31日）																								
	 <table><tr><td></td><td>ベトナム</td><td>インドネシア</td><td>オーストラリア</td></tr><tr><td>1. 投稿回数</td><td>34</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>2. ページのフォロワー</td><td>23</td><td>6</td><td>0</td></tr><tr><td>3. リーチ（ユーザー数）</td><td>213</td><td>83</td><td>62</td></tr><tr><td>4. エンゲージメント（ユーザーの興味・関心の強さを示す指標）</td><td>36</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>5. リアクション数（「いいね」などをした人数）</td><td>13</td><td>1</td><td>0</td></tr></table>		ベトナム	インドネシア	オーストラリア	1. 投稿回数	34	24	25	2. ページのフォロワー	23	6	0	3. リーチ（ユーザー数）	213	83	62	4. エンゲージメント（ユーザーの興味・関心の強さを示す指標）	36	4	5	5. リアクション数（「いいね」などをした人数）	13	1	0
		ベトナム	インドネシア	オーストラリア																					
	1. 投稿回数	34	24	25																					
2. ページのフォロワー	23	6	0																						
3. リーチ（ユーザー数）	213	83	62																						
4. エンゲージメント（ユーザーの興味・関心の強さを示す指標）	36	4	5																						
5. リアクション数（「いいね」などをした人数）	13	1	0																						
 <table><tr><td></td><td>ベトナム</td><td>インドネシア</td><td>オーストラリア</td></tr><tr><td>1. フォロワー</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>2. 写真・動画ポスト</td><td>24</td><td>19</td><td>24</td></tr><tr><td>3. リーチ数</td><td>0</td><td>75</td><td>0</td></tr><tr><td>4. リアクション数</td><td>0</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>		ベトナム	インドネシア	オーストラリア	1. フォロワー	0	0	0	2. 写真・動画ポスト	24	19	24	3. リーチ数	0	75	0	4. リアクション数	0	9	0					
	ベトナム	インドネシア	オーストラリア																						
1. フォロワー	0	0	0																						
2. 写真・動画ポスト	24	19	24																						
3. リーチ数	0	75	0																						
4. リアクション数	0	9	0																						
■概要： ・投稿内容は「なぜ日本の大阪に留学？」「多くの留学生の注目を集めている専門学校」「大専各支援サイトの紹介」「大阪は魅力的な都市」「留学生プレゼン、卒業生インタビュー動画の紹介」「学校（HAL大阪、モード学園）の紹介」など。 ・運用を開始して間もないため、現段階では記事を充実させていく段階だが、比較的ベトナムは反応が良い。 ・会員校への記事提供の呼びかけは定期的を実施していく。 ・制作した動画は引き続き投稿し視聴を促す。																									
7.構成員	57ページに掲載																								
8.成果、実施による効果	・数値的にはまだ乏しいが、反応が出てきており、海外現地に情報を発信する貴重な手段として今後の広がり期待できる。 ・委託期間後半の運用であるため、支援サイトの休眠時期の活性化の材料となる。																								
9 新たに顕在化した課題	・現地SNSの認知度向上と運用フローの見直し 国と地域、媒体により反応に大きな差が出ている。また会員校から原稿を募り発信する形をとっているが、原稿提供が一部会員校にとどまっており限定的である。フォロワー数は徐々に広がりを見せつつあるもののまだまだ少ない。																								
10.事業終了後の目指すべき指標	・日本留学希望者の母集団拡大のためのSNS 渡日前留学生への大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起において、SNSによる情報発信は効果的であり、フォロワー数とリーチ数を指針に、今後も継続的に取り組む。ベトナムでのFacebook運用をはじめ反応が出はじめているものもあり、継続的に効果を測りながら選択と集中も検討する。 また会員校からの原稿提供についての周知や運用方法を見直し、配信内容の充実を図る。																								

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	④海外教育機関へのオンライン出前授業				
2.目的・概要	オンラインを駆使し海外現地の日本語教育機関に「出前授業」を提供。これまで培ってきた繋がりを活かし現地に専門学校の授業を提供することで日本留学の動機付けを拡げる。				
3.広報手法	オンラインによる授業配信				
4.広報対象	ベトナム現地の日本語学校学生110名				
5.実施日時	2021年10月4日、10月25日、11月1日 3日間				
6.実施内容	ベトナム・ホーチミン市師範大学 日本語学部2年生対象 専門学校5校による出前授業				
	日程	時間	クラス	担当校	テーマ
	10月4日（月）	14：00～15：00	64名	修成建設専門学校	日本のものづくり～建設～
		16：00～17：00	46名		
	10月25日（月）	14：00～15：00	64名	大阪工業技術専門学校	日本のものづくり～機械～
		16：00～17：00	46名	エール学園	日本企業理解 (Understanding Japanese companies)
	11月1日（月）	14：00～15：00	64名	大阪YWCA専門学校	日本語レベルアップ！ 関西（大阪）弁を楽しもう！！
16：00～17：00		46名	近畿社会福祉専門学校	日本における『介護』（K A I G O）とは？ ～キュアとケアの違いについて～	
6. KPI、 KPIの達成状況	①KPI :授業受講者数：50名 ②KPIの達成状況：授業受講者数：110名 ③アンケート結果（抜粋） Q1：出前授業は楽しかったですか？ Q2：出前授業の話を聞いて、この分野に興味を持てましたか？ Q3：内容はどのくらい、分かりましたか？ Q4：出前授業の話を聞いて、どのくらい日本留学に興味を持てましたか？ 1. 修成建設専門学校 Q1:楽しかった100%,まあまあ0%,つまらなかった0%/Q2:はい89.5%、いいえ10.5% Q3:(100～80%)6.6%,(80～60%)50.5%, (60以下)42.9%/Q4:(100～80%)33%,(80～60%)51.6%, (60以下)15.4% 2. 大阪工業技術専門学校 Q1:楽しかった96.7%,まあまあ3.3%,つまらなかった0%/Q2:はい87.9%、いいえ12.1% Q3:(100～80%)3.3%,(80～60%)70.5%, (60以下)26.2%/Q4:(100～80%)34.4%,(80～60%)54.1%, (60以下)11.5% 3. エール学園 Q1:楽しかった97.6%,まあまあ2.4%,つまらなかった0%/Q2:はい100% Q3:(100～80%)4.9%,(80～60%)70.7%, (60以下)24.4%/Q4:(100～80%)26.8%,(80～60%)51.2%, (60以下)22.0% 4. 大阪YWCA専門学校 Q1:楽しかった88.9%,まあまあ13%,つまらなかった1.9% Q2:はい88.7%、いいえ11.3%/Q3:(100～80%)29.6%,(80～60%)63%, (60以下)7.4% 5. 近畿社会福祉専門学校 Q1:楽しかった92.9%,まあまあ7.1%,つまらなかった0% Q2:はい82.9%、いいえ17.1%/Q3:(100～80%)9.5%,(80～60%) 57.1%(60以下)38.1% ※実施校によりアンケート内容は一部異なります。				
	8.構成員	57ページに掲載			
9.成果、実施による効果	・日本に関心をもたせることができた。 ・専門学校と、職業教育の理解を促した。 ・オンラインでつながることにより、海外現地教育機関の学生の反応をみることもできた。				
10.新たに顕在化した課題	・語学力と協力校ネットワークの拡大 専門学校への理解関心は深まったものの、現地教員による同時通訳が必要なケースもあり、コミュニケーション面での課題がある。またオンラインのみで実技を学ぶことはむずかしく、取組の目的をどこにおくかの検討が必要と言える。今後、取組を拡大していくためには、協力校をどう拡大していくかも課題となる。また、オンライン授業は海外現地ともコミュニケーションを図れる優れた取組だが、時差や語学力などの課題もあり、オンデマンド配信も視野に入れる必要がある。				
11.事業終了後の目指すべき指標	・より発展的に進めていくためには、どのようにすればよいか？ 海外教育機関へのオンライン出前授業はコロナ禍で渡日前教育の重要性が増している中、発展的に進めていくべき取組である。 コミュニケーションの課題を踏まえた授業内容の検討はもちろん、提携する海外教育機関や国内協力校の構築も同時に進めていく必要がある。こうしたネットワーク拡大に際して、これまで大専各が積み上げてきた国内外での協力関係を十分発揮することが期待できる。またオンライン授業はさまざまな調整が必要だが、実施した出前授業をオンデマンドとして配信することで、時間や国・地域の枠組みを超えて、専門学校教育の周知が可能だと考えられる。				

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	⑤進学情報カードおよび留学生支援サイトへの誘引ツールの制作・配布 ⑤-1留学生受入れ校一覧 専門学校進学情報カード ⑤-2留学生支援サイトへの誘引ツール (留学生採用検討企業向け・日本語教育機関向け 2種)
2.目的・概要	留学生支援サイトをより多くのユーザーに閲覧してもらうため、国内向けにも誘引施策が必要。サイトへの誘引を促す広報ツールおよび、専門学校の留学生受け入れ状況を一覧化した情報誌を作成し、日本語教育機関、企業、行政、在日領事館等の関係機関へ配布する。
3.広報手法	印刷物配布、web掲載
4.広報対象	日本語学校、会員校、全国専各連、行政、協力関係団体 等
5.実施内容	⑤-1:留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード (2021年11月25日発送) - 掲載校数：80校 ※前年度79校 (新規掲載校5校、昨年掲載したが今年掲載なし4校) - 印刷部数：1,500部 - 発送先：日本語学校754件、大専各会員校168件、全国専各連事務局等48件、行政等：28件、協力関係団体46件   ⑤-2留学生支援サイトへの誘引ツール (2021年11月25日発送) ■留学生採用検討企業向け誘引ツール (左下) - 印刷部数：5,000部 - 発送先：企業1,697件、大専各会員校168件、全国専各連事務局等48件、行政等28件、協力関係団体46件 ■日本語教育機関向け誘引ツール (右下) - 印刷部数：5,000部 - 発送先：日本語学校754件、大専各会員校168件、全国専各連事務局等48件、行政等28件、協力関係団体46件  
6. KPI、KPIの達成状況	①KPI WEBサイトの数値状況を成果指標 ②KPIの達成状況 Aは主に誘引ツールおよび情報カード発行後のWEBサイトの反応。 Bは主に10/14企業向け留学生採用セミナーと、10/28専門学校教職員向けオンラインセミナーによる反応 (WEBサイトを通じた告知や申込、当日の紹介など)。 

第2章：個別事業の実施内容

7.構成員	57ページに掲載
8.成果、実施による効果	・資料発送後にサイト閲覧数の増加が確認できており、一定の反応は得られた。 ・継続的に支援サイトの周知を図ることで、ステークホルダーの認知度とサイト価値が向上する。
9.新たに顕在化した課題	・ツール発送時期以外のサイト流入数の維持 発送時期にアクセス数増など反応が得られている一方、それ以外の時期での効果が見えにくい。またコロナ禍で配布機会は減少傾向にあり、ツールの有効性が以前よりも下がっている可能性がある。また大専各からのお知らせが学校経営者や代表アドレス宛に通知されるため、現場担当者まで情報が届いていないことがあり、周知対象へのアプローチの方法にも課題がある。
10.事業終了後の目指すべき指標	・ニーズに合った内容にブラッシュアップと、利用してもらう対象と手法の拡大 進学情報カードをWebコンテンツ化した「受入れ校一覧」は流入数、PV数など高い数値を維持しているが、ユーザーにとって必要な情報になっているか改めて検証したい。ターゲットとしている日本語教育機関や企業のニーズを収集し反映していく。 また、留学生支援サイトをより広く周知するために、誘引ツールの配布のみならず各種セミナー等の折に積極的に発信していく。

第2章：個別事業の実施内容

〈B教育支援〉（在学中〔教育指導、在籍管理、生活支援サポート〕）

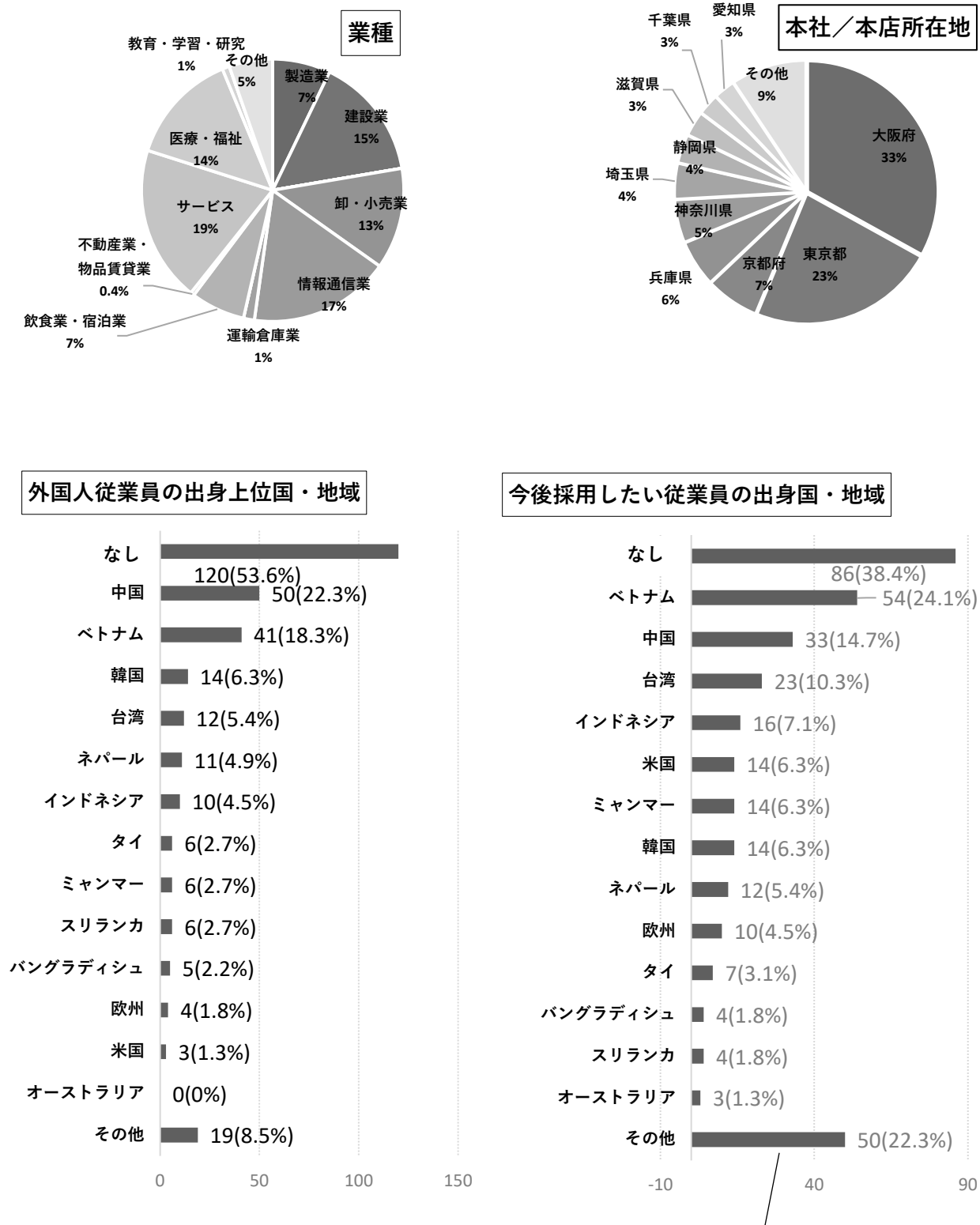
1.取組名	⑥市場動向調査 専修学校・留学生・日本語教育機関・企業を対象とした 「留学生に関する実態把握アンケート調査」
2.目的・概要	課題や取り組むべき内容の解像度を上げ、誘致広報・自己研鑽・啓蒙の効果を高めるため、留学生を取り巻くステークホルダーを対象とした市場動向調査を実施。特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により留学生の置かれている状況が激変している中で、それぞれの課題を正確に捉えることで、団体として解決策を獲得しステークホルダーにフィードバックし環境改善に寄与する。（成果は留学生支援サイトでの公開と誘引ツール等での周知、専門学校および日本語教育機関教職員向けセミナーや企業向けセミナーでの講演、結果を基とした専門学校教職員セミナーでの解決策の考察、「留学生支援コンソーシアム大阪」等で共有・報告する。） ・ステークホルダーの現況および、それぞれが抱える課題やニーズ等を把握し、大専各という団体として多面的な解決策を獲得する。 ・令和2年度事業の調査内容を踏襲し、経年変化や傾向を把握する。 ・結果を報告書にまとめWEBサイト（https://study-osaka.com/）で広く公開する。 ・専門学校教職員セミナーや企業向け留学生採用セミナーなどの各種セミナーにて講演等を行い、理解を深める。 ・大阪府政策企画部、大阪府教育庁私学課、大阪府商工労働部、大阪商工会議所、大阪観光局、JETROからのご意見を反映。
3.広報手法	・オンラインアンケートフォームによる回答収集。 ・結果を報告書にまとめWEBサイトで広く公開。
4.広報対象	国内外
5.実施内容	市場動向調査（留学生に関する実態把握アンケート調査） ■調査実施時期：2021年11月下旬～12月中旬まで調査実施 ■人数：アンケート回答数目標（カッコ内は具体的対象） 専修学校120校（大専各会員校）、留学生1,000名（近畿エリアの専門学校または日本語教育機関在籍留学生）、日本語教育機関60校（近畿エリアの法務省告示校）、企業500社（全国対象） ■内容： ・ステークホルダーの現況および、それぞれが抱える課題やニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施。 ・対象ごとに以下の項目を把握分析し、報告書をまとめる。 1. 専修学校 留学生の受入れ方針・受入れ状況・課題・授業実施状況・サポート状況・経済状況・進路指導および就職活動における課題・企業への要望・行政および留学生支援団体に対する施策の要望・留学生受入れに関する意見。 2. 留学生 日本留学の目的・関西エリアへの進学を目指した理由・現在の在籍機関の選択理由・オンライン授業・生活・求めるサポート制度・将来像・帰国選択の理由・留学生活に対する思い。 3. 日本語教育機関 コロナ禍における入国状況・入学状況・一時帰国後の再入国状況・学費納入に関する状況・課題・授業実施状況・経済状況・進学先への期待と要望・進路指導に関する課題・政府や自治体、関連団体に期待する支援や配慮・専門学校と日本語教育機関の交流について。 4. 企業 大専各の企業認知度・今後の留学生採用計画・今後の留学生採用増減理由・コロナ禍による事業への影響・留学生採用に対する期待値・留学生採用による効果／成果・留学生採用において必要なスキル・事前知識・情報収集方法・求められる情報・課題・国や自治体に臨む採用支援。

第2章：個別事業の実施内容

	<table><tr><th>対象</th><th>専修学校</th><th>留学生</th><th>日本語教育機関</th><th>企業</th></tr><tr><td>条件</td><td>大専各会員校</td><td>近畿エリアの専門学校または日本語教育機関在籍留学生</td><td>全国対象 ※近畿エリアから拡大</td><td>全国対象</td></tr><tr><td>回答依頼方法</td><td>・進学情報カードの発送に同封 ・会員校向けメール配信</td><td>・(株)アクセスネクステージのサービス登録学生へのメール配信 ・会員校へのご協力依頼</td><td>・誘引ツールの発送に同封 ・代表アドレスへメール配信 ・(株)アクセスネクステージのサービス登録教員へのメール配信</td><td>・誘引ツールの発送に同封 ・キャリアマップ登録企業へのメール配信 ・大阪府商工労働部より企業向けメルマガ配信</td></tr></table>	対象	専修学校	留学生	日本語教育機関	企業	条件	大専各会員校	近畿エリアの専門学校または日本語教育機関在籍留学生	全国対象 ※近畿エリアから拡大	全国対象	回答依頼方法	・進学情報カードの発送に同封 ・会員校向けメール配信	・(株)アクセスネクステージのサービス登録学生へのメール配信 ・会員校へのご協力依頼	・誘引ツールの発送に同封 ・代表アドレスへメール配信 ・(株)アクセスネクステージのサービス登録教員へのメール配信	・誘引ツールの発送に同封 ・キャリアマップ登録企業へのメール配信 ・大阪府商工労働部より企業向けメルマガ配信
	対象	専修学校	留学生	日本語教育機関	企業											
条件	大専各会員校	近畿エリアの専門学校または日本語教育機関在籍留学生	全国対象 ※近畿エリアから拡大	全国対象												
回答依頼方法	・進学情報カードの発送に同封 ・会員校向けメール配信	・(株)アクセスネクステージのサービス登録学生へのメール配信 ・会員校へのご協力依頼	・誘引ツールの発送に同封 ・代表アドレスへメール配信 ・(株)アクセスネクステージのサービス登録教員へのメール配信	・誘引ツールの発送に同封 ・キャリアマップ登録企業へのメール配信 ・大阪府商工労働部より企業向けメルマガ配信												
5.実施内容	   															
6.K P I、 KPIの達成状況	①KPI 回答数 専修学校：120校 日本語教育機関：60校 企業：500社 留学生：1,000名 令和3年度 留学生に関する実態把握アンケート 調査報告書 https://study-osaka.com/r2seika/  ②KPIの達成状況 <table><tr><th>対象</th><th>専修学校</th><th>留学生</th><th>日本語教育機関</th><th>企業</th></tr><tr><td>回答目標数</td><td>120(前年実績109)</td><td>1000(前年実績996)</td><td>60(前年実績49)</td><td>500(前年実績414)</td></tr><tr><td>回答状況</td><td>79</td><td>678</td><td>115</td><td>224</td></tr></table>	対象	専修学校	留学生	日本語教育機関	企業	回答目標数	120(前年実績109)	1000(前年実績996)	60(前年実績49)	500(前年実績414)	回答状況	79	678	115	224
対象	専修学校	留学生	日本語教育機関	企業												
回答目標数	120(前年実績109)	1000(前年実績996)	60(前年実績49)	500(前年実績414)												
回答状況	79	678	115	224												
7.構成員	57ページに掲載															
8. 成果、実施 による効果	・ステークホルダーの現況および、それぞれが抱える課題やニーズ等を把握。 ・WEBサイトに公開し、広く活用を促した。 ・日本語学校の調査対象を関西から全国に広げたことで、より多く課題やニーズを把握することができた。															
9.新たに顕在化 した課題	各対象とも回答数が目標に届かず、前年も下回った。 コロナ禍において多くの団体が同種のアンケート調査を実施していたことも影響したと考えられる。また、アンケートの回答をする側にもメリットがあるような工夫が必要。アンケート集計結果を共有するだけではなく、回答者へのフィードバックを検討すべきである。															
10.事業終了後の 目指すべき 指標	・動向を知るために有効な取り組みであり、次年度も継続して調査を行う。 【調査回答数について】より多く意見を聞くために ・調査内容の活用 調査対象者にも役立つフィードバックをしてあげることができれば、回答数が上がるのではないかと。 ・現在、企業調査は、大阪商工会議所会員名簿、キャリアマップ登録企業対象に実施しているが、ハローワークの外国人雇用サービスセンターに協力を依頼するなど、対象の拡大・見直しを検討する。 ・合同調査を試みることで、回答いただく対象者の負担軽減にもなる。たとえば大阪観光局と共同調査はできないか。 【調査項目、内容について】 ・調査対象の追加 現在の4つの調査対象以外に、海外の教育機関や海外のエージェントなどの調査を行いたい。															

第2章：個別事業の実施内容

⑥市場動向調査「留学生に関する実態把握アンケート調査」
対象：企業「留学生に関する実態把握アンケート調査」結果内容（回答224社）の一部抜粋3-1

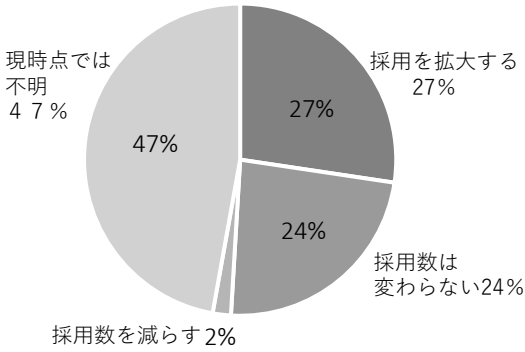


ほぼ「日本語が問題なくできれば、国籍問わず」

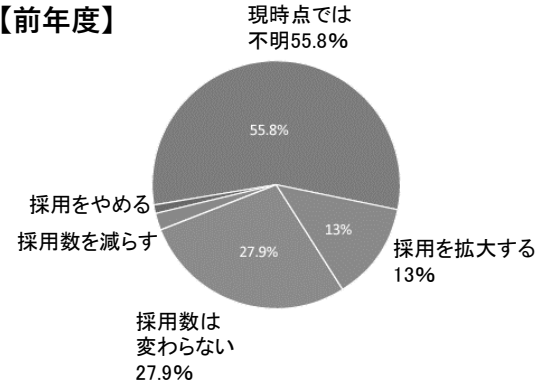
第2章：個別事業の実施内容

⑥対象：企業「留学生に関する実態把握アンケート調査」結果内容（回答224社）の一部抜粋3-2

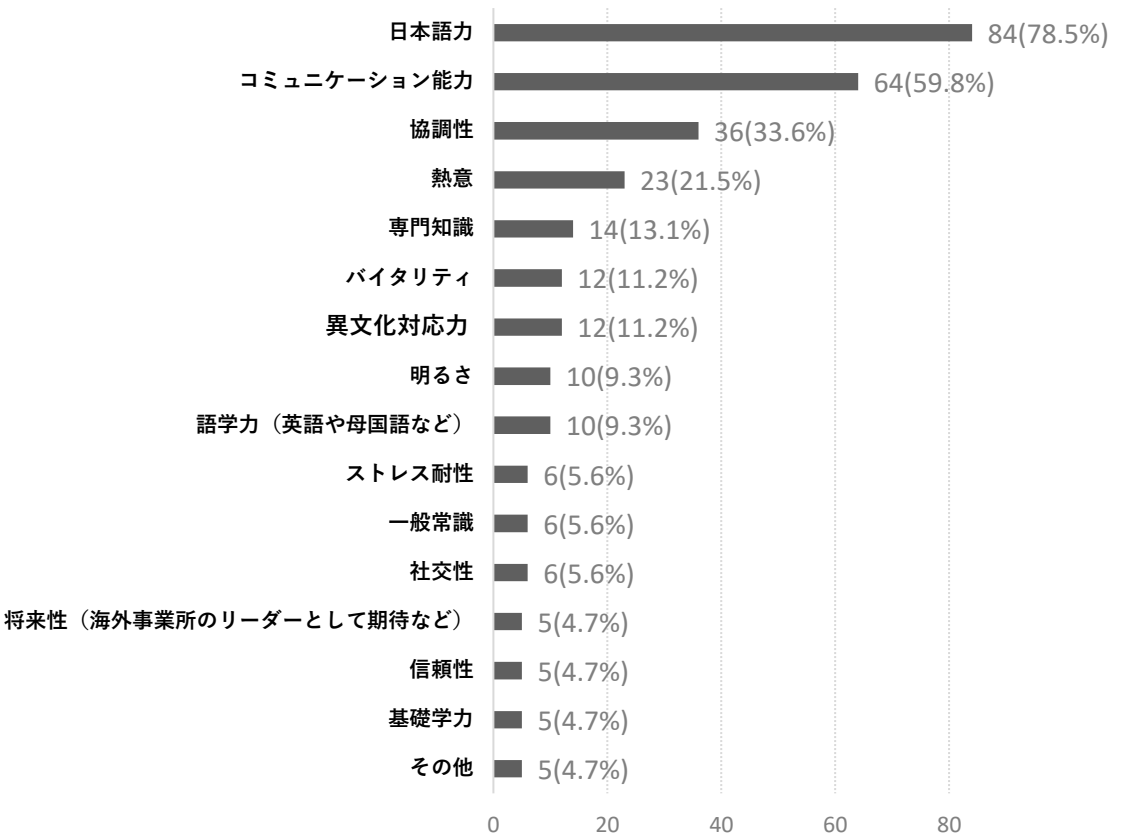
今後の留学生採用方針



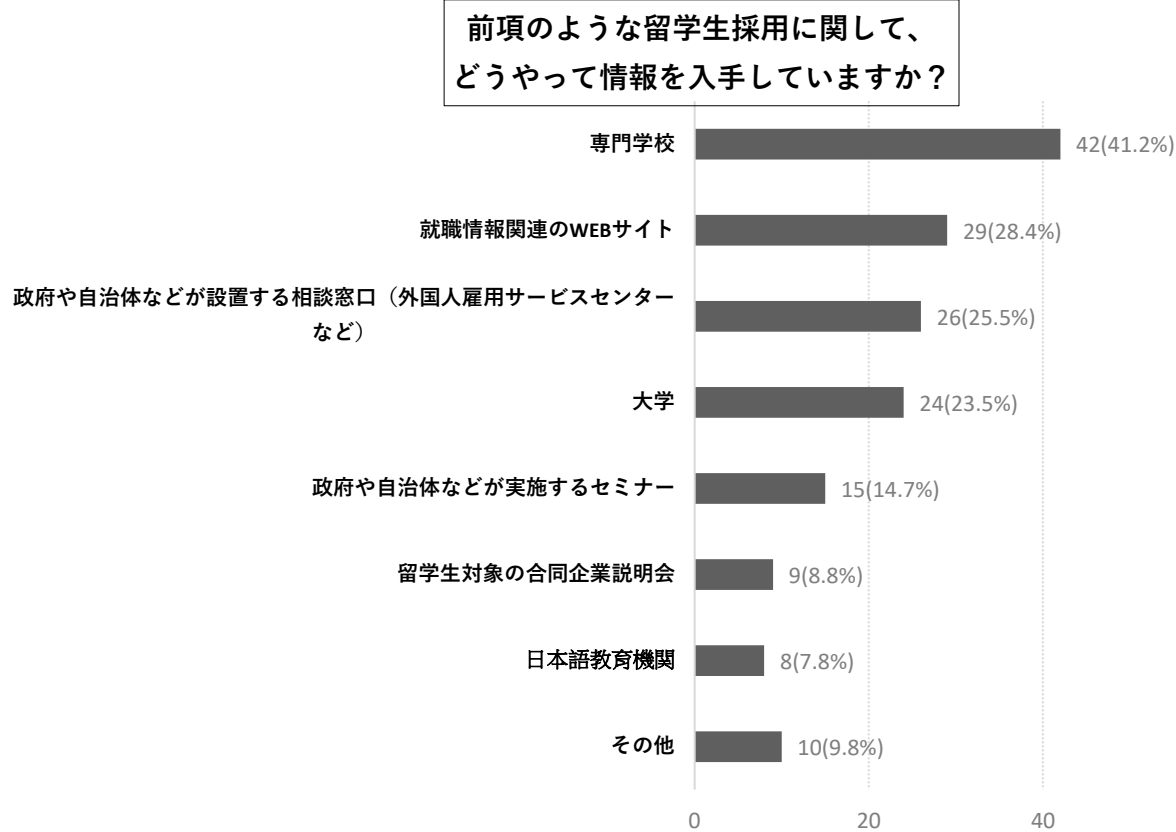
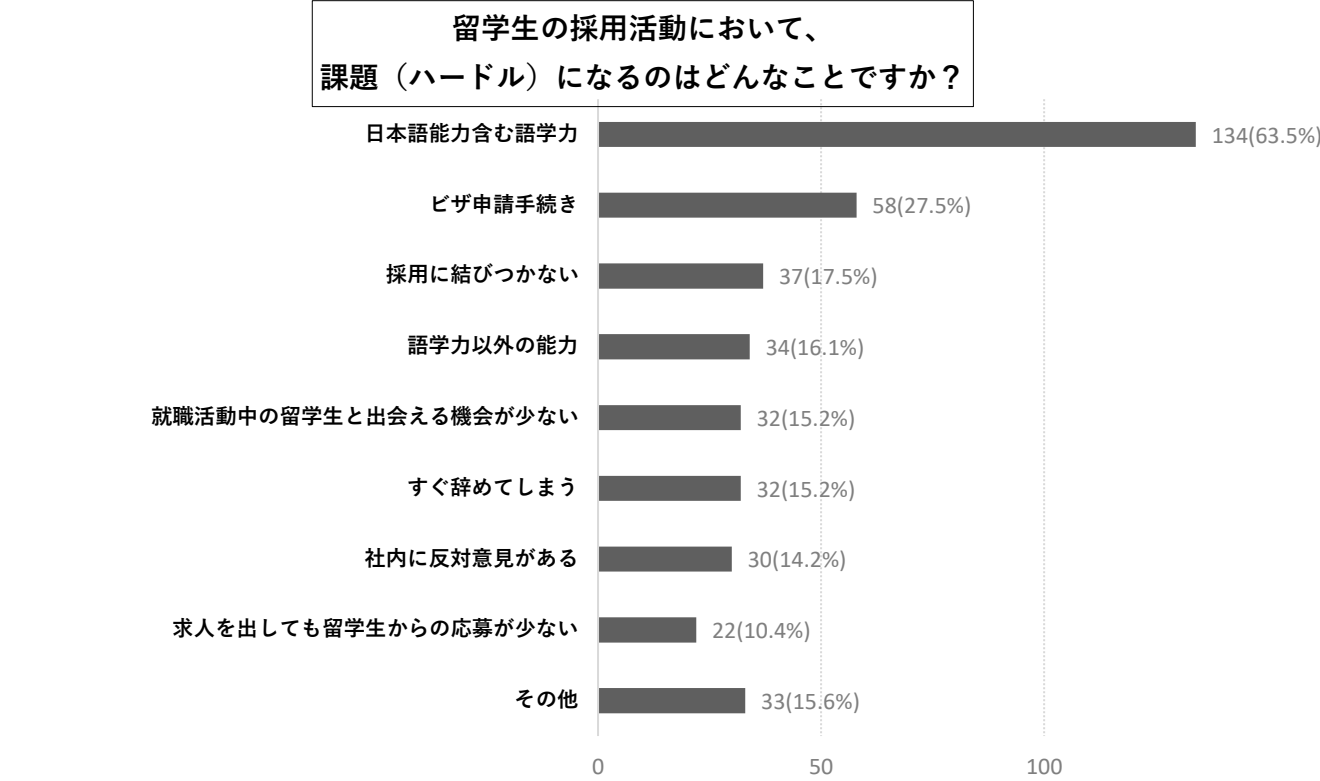
【前年度】



採用活動において、留学生に望むことはどんなことですか？



⑥対象：企業「留学生に関する実態把握アンケート調査」結果内容（回答224社）の一部抜粋3-3



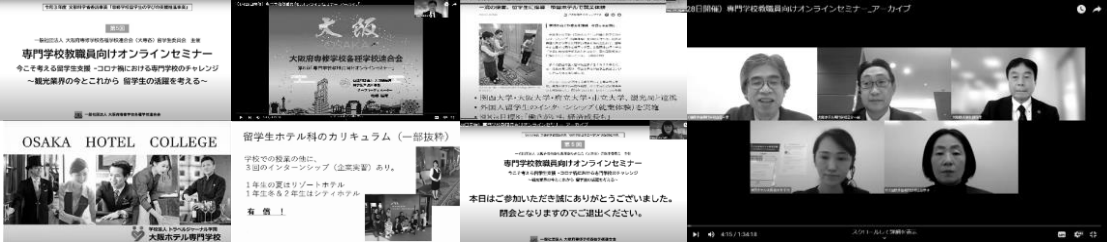
第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	⑦日本語教育機関との連携事業 「第1回関西 日本語学校・専門学校 情報共有会」
2.目的・概要	優秀な留学生の受入促進や留学環境の整備のためには、日本語教育機関と専門学校が連携して活動していくことは不可欠であり、留学生支援や振興に取り組んでいる様々な団体とも「つながり」をもって活動していくために情報共有・協議する場を設ける。
3.広報手法	会合
4.広報対象	国内向け
5.開催日時	2021年12月14日
6.実施内容	「第1回関西 日本語学校・専門学校 情報共有会」 ■開催場所：上田学園 中津校舎 ■メンバー： 和歌山外国語専門学校 坂本理事長／神戸住吉国際日本語学校 若林理事長／ 大阪文化国際学校 岡校長／メリック日本語学校 立脇校長 修成学園 山下理事長（進行）／上田学園 上田理事長／ 大阪総合デザイン専門学校 山田本部長
7.KPI、 KPIの達成状況	①KPI：参加者数：50名 ②KPIの達成状況： 現在の入国規制が続いているこの状況で、日本語教育機関・専門学校の間で意見交換をしていくためには、当初計画した参加者50名想定セミナー形式で実施するよりも、より率直な意見交換会の場を定期的に持つ方が密度の高い内容になると考え計画内容を変更した。
8.構成員	57ページに掲載
9.成果、実施による効果	・ 関西の日本語学校と専門学校が一体となり活動していく必要性和、双方の課題や現況をより把握できた。
10.新たに顕在化した課題	専門学校と日本語学校でそれぞれ潜在的に把握したいことがある。たとえば、専門学校としては、日本語学校での進路決定プロセスや留学生の進路希望をどのように把握・指導しているのか。日本語学校としては、専門学校に進学した卒業生の様子や就職などの過程。そうした情報交換ができれば、学生にとってのミスマッチにも繋がり有益な関係構築になる。また、しっかりとした日本語教育と高等教育を受けた外国人が社会に必要であることを連携してアピールしていく必要がある。
11.事業終了後の目指すべき指標	・ 日本語学校と専門学校の情報交換と、連携した活動 相互に知りたい事、求める事を把握し、しっかりとした日本語教育と高等教育を受けた外国人が社会に必要であることを連携してアピールしていく必要がある。 また、留学生は来日以前より就職を見据えている。そのため、海外現地に対して日本語学校と専門学校で連携した広報活動を行うことで、日本語を学ぶ先に職業教育があり、目標とする就職までの道筋を明確に訴求することができる。 こうした、留学生が高度な日本語教育と職業教育を受けていること、それが社会にとって必要な人財であることを社会にアピールする広報活動と、就職までの道筋を明示する留学誘致広報活動を、日本語学校・専門学校で協力して実施していくことを模索していく。

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	⑧専門学校教職員向けオンラインセミナー ⑧-1「今こそ考える留学生支援ーコロナ禍における専門学校のチャレンジャー本音で語り合う留学生の就職」
2.目的・概要	留学生支援における課題や解決策等を、専門学校間で情報共有・ノウハウ共有し、分野を超えた知見を得ることを目的として研修会を実施する。オンラインを活用し広域から参加可能にすることで、専門学校全体の底上げに繋がるよう展開する。
3.開催日時	2021年10月28日（木）15：00～16：30
4.開催方法	Zoom によるオンラインセミナー
5.主 催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会
6.参加費	無料
7.対象者	専門学校および各種学校の教職員
8.プログラム・登壇者	■プログラム 14:45～Zoom ミーティングルーム 受付開始 15:00＜トークセッション ～本音で語り合う留学生の就職～＞ ファシリテーター：ECC 国際外語専門学校 白石 一幸 【留学生採用企業】 株式会社ユアサデザインルーム（一級建築士事務所） 社会福祉法人 天王福祉会（高齢者施設、障がい者施設、児童施設の運営管理） 株式会社リークラボ・ジャパン（鉱油、機械工具及び機械部品などの輸出入並びに製造、販売） 【専門学校・各種学校】 修成建設専門学校／森ノ宮医療学園ウェルランゲージスクール／ECC 国際外語専門学校 16:10＜質疑応答＞ 16:25大専各からのご案内 16:30終了予定 司会：大阪 YWCA 専門学校 中山 羊奈 
9.申込者数	109名（北海道東北6／関東甲信越28／中部6／近畿37／中四国14／九州沖縄14）
10.KPI、KPIの達成状況	①KPI 参加者数：130名 ②KPIの達成状況： ■申込者数： 109名84校4団体（北海道東北6／関東甲信越28／中部6／近畿37／中四国14／九州沖縄14） ■視聴者数：最大96名 ※パネリスト含む ③アンケート結果（添付） 満足度「次回も参加したいですか？」はい95%、いいえ5%
11.構成員	57ページに掲載
12.成果、実施による効果	・半数以上が大阪府外の広域からの参加であり、全国の専門学校に情報共有する機会となっている。 ・参加者の満足度が高く、次回に期待する声も多い。
13.新たに顕在化した課題	・継続的に実施していくうえで、テーマの設定と、講演者や協力団体を調整していくことは課題と感じる。 また、セミナー中において参加者からの質問も多く、回答しきれないケースもある。参加者とより活発な意見交換や交流が図れる手法を検討する。
14.事業終了後の目指すべき指標	日本全国の専門学校や、他の専門学校協会、自治体などにも参加いただいており、専門学校全体の留学生支援に底上げにつながる意義ある取り組みと捉えている。今後もこれまでと同水準の参加者数を指標として、テーマ設定のみならず、参加者との意見交換が図れる方法の模索といった、より効果的なセミナーを目指す。

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	⑧専門学校教職員向けオンラインセミナー ⑧-2「今こそ考える留学生支援ーコロナ禍における専門学校のチャレンジー観光業界の今とこれから 留学生の活躍を考える」
2.目的・概要	留学生支援における課題や解決策等を、専門学校間で情報共有・ノウハウ共有し、分野を超えた知見を得ることを目的として研修会を実施する。オンラインを活用し広域から参加可能にすることで、専門学校全体の底上げに繋がるよう展開する。
3.開催日時	2022年1月28日（金）15：00～16：30
4.開催方法	Zoom によるオンラインセミナー
5.主 催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会
6.参加費	無料
7.対象者	専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員
8.プログラム・登壇者	■プログラム（司会：大阪 YWCA 専門学校 中山 羊奈） 14：45～Zoom ミーティングルーム 受付開始 15：00＜トークセッション～観光業界の今とこれから 留学生の活躍を考える～＞ ファシリテーター：ECC 国際外語専門学校 白石 一幸 【パネリスト】 公益財団法人 大阪観光局/帝国ホテル大阪/ 大阪ホテル専門学校/ ECC 国際外語専門学校 16：10＜質疑応答＞ 16：25大専各からのご案内 16：30終了予定 
9.申込者数	109名（北海道東北4／関東甲信越18／中部9／近畿39／中四国16／九州沖縄15／企業その他8）
10.KPI、KPIの達成状況	①KPI：参加者数：各130名 ②KPIの達成状況： ■申込数：合計109名 65校 6 団体（65校101名＋企業 1 名団体7名） （北海道1名／福島県3名／群馬県3名／埼玉県1名／千葉県1名／東京都9名／神奈川県2名／静岡県1名／新潟県2名／富山県1名／石川県1名／岐阜県1名／山梨県2名／三重県3名／大阪府36名／奈良県3名／岡山県8名／広島県2名／香川県6名／福岡県8名／佐賀県2名／長崎県1名／熊本県2名／沖縄県2名／企業その他8名） ■視聴者数：最大97名 ※パネリスト含む ③アンケート結果（添付） 満足度「次回も参加したいですか？」はい100%
11.構成員	57ページに掲載
12.成果、実施による効果	・半数以上が大阪府外の広域からの参加であり、全国の専門学校に情報共有する機会となっている。 ・参加者の満足度が高く、次回に期待する声も多い。
13.新たに顕在化した課題	・継続的に実施していくうえで、テーマの設定と、講演者や協力団体を調整していくことは課題と感じる。 また、セミナー中において参加者からの質問も多く、回答しきれないケースもある。参加者とより活発な意見交換や交流が図れる手法を検討する。
14.事業終了後の目指すべき指標	日本全国の専門学校や、他の専門学校協会、自治体などにも参加いただいており、専門学校全体の留学生支援に底上げにつながる意義ある取り組みと捉えている。今後もこれまでと同水準の参加者数を指標として、テーマ設定のみならず、参加者との意見交換が図れる方法の模索といった、より効果的なセミナーを目指す。

第2章：個別事業の実施内容

〈C〉就職支援（就職支援等）

1.取組名	⑨企業向け留学生採用セミナー テーマ：外国人留学生採用オンラインセミナー ～企業と専門学校がつながり、意見交換ができる交流会～
2.目的・概要	企業向け留学生採用セミナーを開催し、留学生採用意欲向上を目指す。現在コロナ禍による 幸先不透明な景気状況により、多くの業界では採用活動が縮小傾向にあり、留学生の就職支 援として企業との関係性をより強化していく必要がある。その為には、このような状況だか らこそ専門学校の職業教育は高水準であり、学んでいる留学生の質が高いということをPR できる場が必要だと考える。そこで改めて、国際化や海外進出にも重要な役割を担うこと、 即戦力足り得ること、また社内の多様性の実現など様々な課題に応える貴重な人財となるこ とを啓蒙・啓発していく。
3.開催日時	2021年10月14日（木）15：00～17：00
4.開催方法	Zoom によるオンラインセミナー
5.主 催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）
6.共 催	大阪商工会議所
7.協 力	留学生支援コンソーシアム大阪 公益社団法人 関西経済連合会 ABC プラットフォーム 大阪出入国在留管理局 一般社団法人 Transcend Learning 一般社団法人 外国人留学生高等教育協会
8.後 援	大阪府、独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）
9.参加費	無料
10.広報対象	①外国人留学生の採用計画のある、または検討をしている企業の経営者・人事担当者 等 ②専門学校および各種学校の役員・教職員 等 ③専門学校に在籍する外国人留学生
11. プログラム・ 登壇者	■プログラム（司会：近畿社会福祉専門学校 岡田智幸） 14:45～Zoom ミーティングルーム オープン 15：00～15：05＜主催団体からの挨拶＞ （一社）大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 富永 桂多 15：05～15:50＜特別講演＞ これからの大阪。成長戦略に必要な多様性とは （公財）大阪観光局 理事長 溝畑 宏 （学）エール学園 理事長 長谷川 恵一 コーディネーター：（一社）Transcend Learning 事務局長 吉田 圭輔 15：50～16：10＜講演＞ 外国人留学生採用のススメ ～専門学校と協力する持続可能な人財採用～ （一社）大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長 山下 裕貴 16:10～16:15＜共催団体からの挨拶＞ 大阪商工会議所 人材開発部長 大阪企業家ミュージアム 事務局長 興津 厚志 16:20～17:00＜分科会 ブレイクアウトルームに分かれて実施します。＞ テーマ.1 観光を学ぶ留学生の声を聞く（エール学園 在校生） テーマ.2 自動車整備を学ぶ留学生の声を聞く（日本理工情報専門学校 在校生） テーマ.3 介護留学生が就職先を選ぶ決め手とは（近畿社会福祉専門学校在校生・介護事業者） テーマ.4 日本で起業した元留学生の話（エール学園 卒業生） テーマ.5 留学生をはじめて採用した企業の話（建築設計：コンパス建築工房） テーマ.6 留学生の採用に関する入管手続き等について（大阪出入国在留管理局） テーマ.7 専門学校の進路担当と話す 専門学校 Q&A（ECC 国際外語専門学校） 17：00終了

第2章：個別事業の実施内容

11. プログラム・ 登壇者	
12.申込者数	193名（企業68 学校110 学生15）
13. KPI、 KPIの達成状況	①KPI：参加者数：100名 ②KPIの達成状況： ■申込者数：193名（企業68 学校110 学生15） ■最大視聴者数：175名 ③アンケート結果（別添） 満足度「とても有意義」＋「有意義」の合計→96.3%
14.構成員	57ページに掲載
15.成果、実施 による効果	・企業に対し、専門学校卒業生のレベルの高さを訴求できた。 ・これからの大阪が留学生受け入れに向けて大きく活動していくことを広く認知させることができた。 ・参加者に対して留学生採用の重要性を伝える機会になった。 ・大阪観光局や大阪出入国在留管理局といった外部の協力をえて、貴重なセミナーを実施することができた。
16.新たに顕在 化した課題	・専門学校、留学生の啓蒙・啓発は大切な目的だが、今の形態がベストな状況なのか？動員数、満足度が指標で良いのか？伝えたい企業は顔ぶれがそれほど変わらず、かつ、それほど多くなかった。 ・大専各のネットワークでの企業動員の場合、同じ企業の動員になり、企業集客も難しい。
17.事業終了後 の目指すべき 指標	・インターンシップが普及するためにどうすべきかを指すべき指標と捉えたい。 留学生採用を成功させるためにはインターンシップの役割は大きいと考える。いままで留学生の採用経験がない企業でもインターンシップを通して、留学生採用を前向きに検討しているという話はよく耳にする。以上から「就職支援」は、「求人を獲得」というよりも、まず留学生が参加できるインターンシップを普及するという点に重点をおき、成果発表までつなげていきたいと考える。インターンシップ実施→成果発表→インターンシップ企業数増という繰り返しを行うことで留学生の就職ニーズが拡大する。次年度において、本セミナーは、インターンシップ事例発表の場として実施できないか検討していく。

第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	⑩企業×専門学校キャリア担当者のマッチングセミナー テーマ：企業と専門学校つながる就職セミナー
2.目的・概要	留学生の就職を実現するため“具体的な求人”を開拓・強化する目的のため、「企業人事担当者と専門学校キャリア担当者の接触機会」を設ける。多数の専門学校キャリア担当者と、多数の企業採用担当者の参加を促し、個別の説明・質問をオンラインを活用して体系的に実施し、専門学校の留学生にとっての就職先および、専門学校への新規企業からの求人拡大、戦術づくりや目標達成に資する機会とする。
3.開催日時	2021年11月16日（火）10：30～17：15 （予定：2021年11月16日（火）、11月17日（水）、11月18日（木））
4.開催方法	オンライン（Zoomによるマッチング）
5.主 催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会
6.共 催	大阪商工会議所
7.協力	留学生支援コンソーシアム大阪
8.参加費	無料
9.対象者	企業11社 専門学校49校（名）
10.プログラム	開催日：2021年11月16日（火）10：30～17：15 共催：大阪商工会議所 協力：留学生支援コンソーシアム大阪 開催方法：専門学校キャリア担当者が特設サイトから希望の企業のZoomルームに入室して面談。   特設サイト セミナー告知チラシ 集客方法 ①企業1,500社に案内状を9/22発送 ②9/17大阪商工会議所主催留学生イベントで告知 ③大専各会員校へのメール配信 ④全専各へのご案内および全国専各連へのメール配信 ⑤専門学校教職員向けオンラインセミナーに参加した専門学校にメール配信 ⑥昨年の企業交流会に参加した企業にメール配信 ⑦関経連、大商、入管、JETRO、大阪府への周知協力依頼 ⑧キャリアマップに参加している企業へメール配信 ⑨全国の日本語学校へのメール配信 ⑩10/7留学生支援コンソーシアム大阪 総会での告知 ⑪協力企業からの関係先等への案内 ほか
11.参加機関数	企業11社 専門学校49校（名）
12.KPI、KPIの達成状況	①KPI：参加者数：参加機関数：企業100社、 会員校150校（名） ②KPIの達成状況：参加機関数：企業11社、 専門学校49校（名） ③アンケート結果（添付） 満足度「とても有意義」＋「有意義」の合計→企業100% 専門学校77.8%
13.構成員	57ページに掲載
14.成果、実施による効果	・参加した専門学校や企業から「今までになかった企業と専門学校がつながる意義のある企画」という評価を得ることが出来た。
15.新たに顕在化した課題	・出展企業の誘致で苦戦した。 当初100社を目標としながら、結果11社と大きく差異が出ている。また参加企業の業界で偏りはあった（建設業界や社会福祉法人など）。
16.事業終了後の目指すべき指標	・「⑨企業向け留学生採用セミナー」にも記載している通り、本事業の「就職支援」は「求人獲得」に重点をおくのではなく、留学生のインターンシップ普及を目指すべき指標だと考える。

第2章：個別事業の実施内容

(2) その他報告事項

⑪成果報告書

1.内容

取組の事業結果を掲載、とりまとめて成果報告書として印刷、事業周知を行う。

2.仕様

A4 /印刷部数：290部

3.配布・周知

関係各位に送付し、事業成果の周知を行う。なお本報告書のpdfを大専各WEBサイト上にアップし、重ねて事業成果の周知を行う。

発送先：大専各会員校、全国専各連事務局他、大専各会合等へ2月中旬に発送・配布予定。

⑫委託事業成果PR動画

1.目的

今年度実施した事業について、簡潔にわかりやすくまとめた動画を製作し、実績報告書とあわせて提出する。

2.内容

以下内容を約3分の動画に編集した

①取組体制 ②目的 ③取り組んだ事業説明 ④KPI ⑤これからの大阪

3.周知

製作した動画は、大専各 留学生支援サイト内から閲覧可能とするとともに、その他各種留学生に関わるセミナーなどあれば、説明動画として積極的に使用する。

また、文部科学省ホームページ「専修学校#知る専 (<https://shirusen.mext.go.jp/>)」及びYouTube「知る専チャンネル」においても、ぜひ公開して頂きたい。

2. 事業終了後に実施予定の取組及び成果の普及方策

大専各 留学生委員会で今まで取り組んだ事業は、成果報告書として記録に残しており、留学生支援サイト内でもダウンロードできるようにしている。ただ近年は、この留学生支援事業で取り組んだ成果物が、WEBサイトのコンテンツとしてしっかり蓄積できていると感じている。具体的に昨年事業で取り組んだ留学生のプレゼンテーション動画は、今年度でも視聴数を稼いでおり、企業や行政、他団体の方に専門学校で学ぶ留学生の意欲や語学力含めた能力の高さなど伝える良いコンテンツになっている。今年度事業でも同様に新たな動画コンテンツを製作することができ、我々は「まず、留学生支援サイトをご覧ください」と様々なところで伝えることが留学生支援の普及活動につながると考える。動画以外に冊子化されている情報カードも同様であり、フォーマット化された情報体裁は、日本語教育機関の進路指導時に分かり易いと評価を得ていると聞いている。

以上から我々の考えとしては、単年ごとの取組が年を追うごとにまとまり、大きくなってきており、それが主に留学生支援サイトに集まっていき、対外的な普及・振興はサイト閲覧してもらうことでひとつの指標を図れるのではないかと考えている。

第2章：個別事業の実施内容

3.事業実施に伴うアウトプット

(1) 実施一覧

取組		具体的内容	海外向け or 国内向け
A 誘致 広報	①入学前	①「留学生支援サイト」の多言語化、年次情報更新 ①-1サイトの多言語化 サイト全体の10言語対応（9月29日より実装） 英語／簡体字／繁体字／ベトナム語／インドネシア語／韓国語／ネパール語／ミャンマー語／タイ語 ①-2「留学生受入れ校一覧」「専門学校MOVIE」「働く・活躍する卒業生」 など各種コンテンツを最新情報に更新。	海外/ 国内
	①入学前	②留学生 映像コンテンツの制作・配信 ②-1「留学生のプレゼンテーション ～私が想い描く夢～」 10校（字幕あり・なし）＋ダイジェスト版1本 ②-2「大阪の専門学校で学び、社会で活躍する卒業生インタビュー」 7校＋ダイジェスト版1本 ②-3「専門学校紹介動画」字幕4言語追加 （インドネシア語、ベトナム語、簡体字、繁体字） ②-4卒業生／人事担当者のインタビュー動画33本	海外/ 国内
	①入学前	③SNSを活用した情報発信 （11月1日より開始） ベトナム（ベトナム語）、インドネシア（インドネシア語）、オーストラリア（英語）のFacebook・Instagramの運用	海外/ 国内
	①入学前	④海外教育機関へのオンライン出前授業 対象：ベトナム・ホーチミン市師範大学日本語学部2年生 実施校：専門学校5校による出前授業	海外
	①入学前	⑤進学情報カードおよび留学生支援サイトへの誘引ツールの制作・配布 ⑤-1留学生受入れ校一覧 専門学校進学情報カード ⑤-2留学生支援サイトへの誘引ツール 留学生採用検討企業向け・日本語教育機関向け 2種	国内
B 教育 支援	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	⑥市場動向調査 専修学校・留学生・日本語教育機関・企業を対象とした 「留学生に関する実態把握アンケート調査」	国内
	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	⑦日本語教育機関との連携事業 第1回「関西 日本語学校・専門学校 情報共有会」 （2021年12月14日実施）	国内
	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	⑧専門学校教職員向けオンラインセミナー ⑧-1「今こそ考える留学生支援 -コロナ禍における専門学校のチャレンジ- 本音で語り合う留学生の就職」 （2021年10月28日実施） ⑧-2「今こそ考える留学生支援 -コロナ禍における専門学校のチャレンジ- 観光業界の今とこれから 留学生の活躍を考える」 （2022年1月28日実施）	国内
C 就職 支援	④就職支援等	⑨企業向け留学生採用セミナー テーマ：外国人留学生採用オンラインセミナー ～企業と専門学校がつながり、意見交換ができる交流会～ （2021年10月14日実施）	国内
	④就職支援等	⑩企業×専門学校キャリア担当者のマッチングセミナー テーマ：企業と専門学校つながる就職セミナー （2021年11月16日実施）	国内
		⑪成果報告書	—
		⑫委託事業成果PR動画	—

第四回専門学校教職員向けオンラインセミナー

留学生採用企業担当者と専門学校就職指導担当者との

トークセッション「本音で語り合う留学生の就職」

令和3（2021）年10月28日（木）15:00～16:30実施

アンケート結果報告書 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

開催日時

【第四回】令和3（2021）年10月28日（木）

主催：一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会

開催時間：15:00～16:30

開催方法：Zoomによるオンラインセミナー

参加費：無料

対象者：専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員

開催要項：実際に留学生を採用した企業の採用担当者を招き、「留学生の就職」をテーマとして専門学校就職指導担当者とトークセッションを実施します。企業の本音をお聞きすることで、専門学校での職業教育の質向上に繋げていきたいと考えています。

トークセッション

<トークセッション ～本音で語り合う留学生の就職～>

ファシリテーター：ECC国際外語専門学校 白石 一幸

【留学生採用企業】

株式会社ユアサデザインルーム 部長 西山 博之 様
（一級建築士事務所）

社会福祉法人 天王福社会 採用担当 竹村 宏之 様
（高齢者施設、障がい者施設、児童施設の運営管理）

株式会社リークラボ・ジャパン 代表取締役 物部 智人 様
（鋳造、機械工具及び機械部品などの輸出入並びに製造、販売）

【専門学校】

修成建設専門学校 進路担当 濱岡 慎之輔

森ノ宮医療学園ウェルランゲージスクール 教務事務部長 小島 賢久

ECC国際外語専門学校 進路担当 白石 一幸

視聴者数

申込者数：84校4団体 109名 ※次ページ参照

視聴者数：最大96名 ※パネリスト含む

平均視聴時間：78.3分

事前予約内訳

合計109名 84校4団体（84校105名+企業4団体4名）

（北海道6名／栃木県1名／群馬県2名／埼玉県6名／千葉県1名／東京都7名／神奈川県5名／新潟県4名／石川県3名／長野県2名／岐阜県2名／三重県1名／京都府2名／大阪府33名／奈良県1名／和歌山1名／岡山県9名／広島県4名／山口県1名／福岡県4名／熊本県4名／沖縄県6名

／企業その他5名）

【大阪】上田学園(1)/学校法人エール学園（専門学校含む）(6)/修成建設専門学校(4)/日本理工情報専門学校(1)/学校法人三幸学園 辻学園調理・製菓専門学校(1)/ECCコンピュータ専門学校(2)/ECC国際外語専門学校(2)/清風情報工科学院(1)/中央工学校OSAKA（2）/大阪航空専門学校(1)/専門学校ヒコみづのジュエリーカレッジ大阪(1)/大阪ハイテクノロジー専門学校(1)/大阪アミューズメントメディア専門学校(2)/学校法人森ノ宮医療学園(1)/大阪コミュニティワーカー専門学校(2)/関西経理専門学校(1)/大阪文化国際学校(1) /学校法人マロニエ文化学園(1) /学校法人ロイヤル学園(1)/ポプラ介護福祉学校(1)/

【大阪以外】京都製菓製パン技術専門学校(京都) (1)/学校法人大和学園 京都栄養医療専門学校(京都) (1)/奈良コンピュータ専門学校（奈良）(1)/和歌山YMCA国際福祉専門学校（和歌山）(1)/専門学校ファースト学園金沢校（石川）(1)/金沢福祉専門学校（石川）(2)/岡山科学技術専門学校(岡山) (5)/岡山外語学院（岡山）(1)/西日本調理製菓専門学校（岡山）(1)/美作市スポーツ医療看護専門学校（岡山）(1)/学校法人本山学園（岡山）(1)/勢京ビジネス専門学校（三重）(1)/

北海道芸術デザイン専門学校（北海道）(1)/北海道HSL日本語学校（北海道）(1)/函館臨床福祉専門学校（北海道）(1)/旭川理容美容専門学校（北海道）(1)/大原簿記情報専門学校札幌校（北海道）(1)/学校法人西野学園（北海道）(1)/専門学校新潟国際自動車大学校（新潟）(1)/国際ペットワールド専門学校（新潟）(1)/国際外語・観光・エアライン専門学校日本語科(新潟) (1)/学校法人国際総合学園（新潟）(1)/群馬社会福祉専門学校（群馬）(1)/専門学校中央情報大学校（群馬）(1)/日産栃木自動車大学校（栃木）(1)/外語ビジネス専門学校（神奈川）(3)/厚木総合専門学校（神奈川）(1)/柏木実業専門学校（神奈川）(1)/東京工学院専門学校(東京) (1)/学校法人織田学園(東京) (2)/JCLI日本語学校（東京）(1)/日本東京国際学院（東京）(2)/日本電子専門学校（東京）(1)/埼玉ベルエポック製菓調理専門学校（埼玉）(1)/埼玉自動車大学校（埼玉）(1)/越生自動車大学校（埼玉）(1)/大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校（埼玉）(1)/国際航空専門学校（埼玉）(1)/山手ビジネスカレッジ（埼玉）(1)/大原簿記公務員医療情報ビジネス専門学校津田沼校（千葉）(1)/信州スポーツ医療福祉専門学校（長野）(1)/信州介護福祉専門学校（長野）(1)/中日本航空専門学校（岐阜）(1)/ヴィジョンネクスト情報デザイン専門学校（岐阜）(1)

穴吹国際みらい専門学校（広島）(1)/学校法人穴吹学園（広島）(1)/専門学校 広島国際ビジネスカレッジ（広島）(1)/学校法人穴吹学園(福山校)（広島）(1)/専門学校YICグループ 学校法人YIC学院（山口）(1)/西鉄国際ビジネスカレッジ（福岡）(1)/西鉄自動車整備専門学校（福岡）(1)/福岡外語専門学校（福岡）(1)/学校法人麻生塾（福岡）(1)/熊本YMCA学院（熊本）(1)/熊本外語専門学校（熊本）(1)/熊本工業専門学校（熊本）(1)/専門学校湖東カレッジ（熊本）(1)/

沖縄ラフ&ピース専門学校（沖縄）(1)/専門学校ITカレッジ沖縄（沖縄）(2)/日本文化経済学院（沖縄）(1)/尚学院国際ビジネスアカデミー（沖縄）(1)/大育情報ビジネス専門学校（沖縄）(1)/

【企業その他】

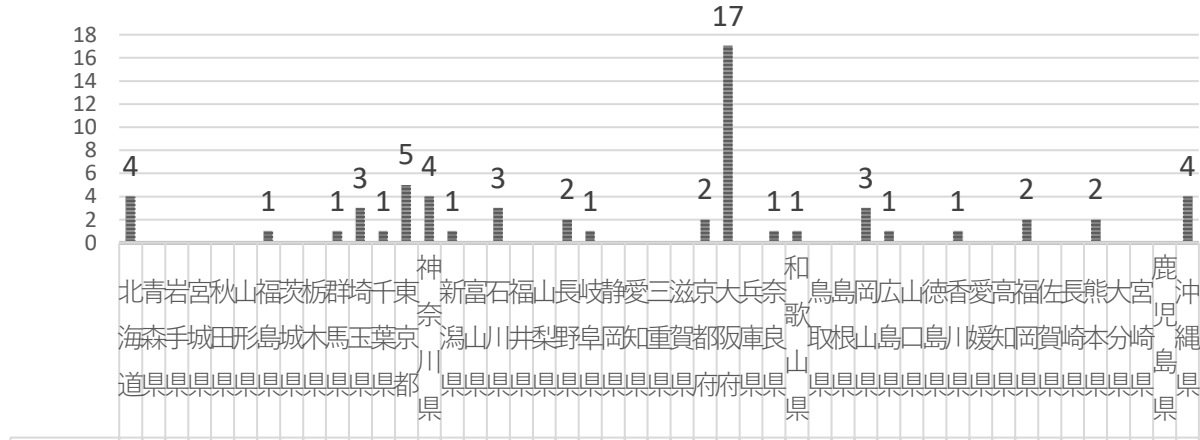
すみれナレッジ（大阪）(1)/日経BP（1）/(株)英進（東京本社）(1)/株式会社モリブチ（大阪）(1)

セミナー中にあがった質問（チャット）

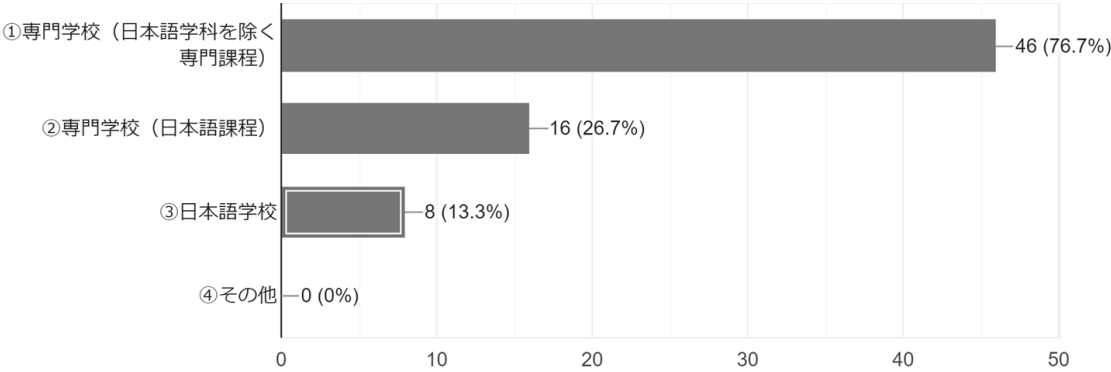
- ・語学以外で、こんな資格や知識があると望ましいものがあれば教えてください。
- ・日本語・日本の企業文化への理解が必要であることはわかるのですが、「日本人にはない視点・考え方」を期待しますか？
- ・採用の際、ES等文章の日本語の正しさや内容、また、SPIのような適性検査などはどの程度重視されていますか。
- ・就労ビザ取得の際は行政書士を使いますか？
- ・留学ビザからの変更申請、更新申請等に関して、大変だと思いますが、そういった事務手続きが、面倒で外国人採用に後ろ向きな企業は多いのか？
- ・白石先生にお伺い致します。少し触れられていました、ビジョンが確立していない留学生に対してはどのように指導していますか？
- ・株式会社ユアサデザインルーム 西山様にお伺いします。採用にあたっては応募はどのような形でうけておられますか。直接なのか、または斡旋業者経由が多いのか。直接であれば御社に応募するきっかけはどんな媒体であるのか教えていただけますとありがたいです。
- ・日本の会社で働くについて日本を知ってもらうことと逆に外国人職員のバックボーンなどその方をより深くいくために心がけていることなどはありますでしょうか。

アンケート回答者数60名

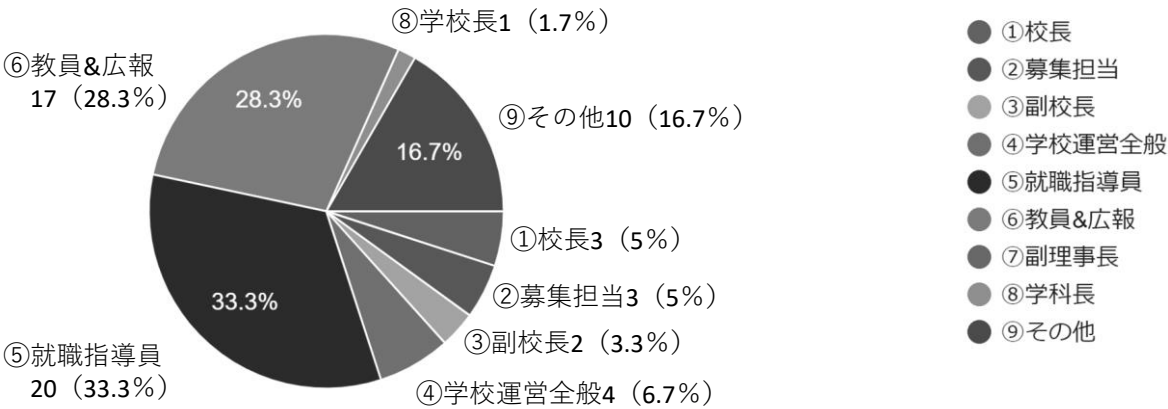
1. 学校所在地を教えてください。（n=60）



2. どの教育機関に所属されていますか。（複数回答可）（n=60）



3. 学内の業務についてお答えください。（n=60）

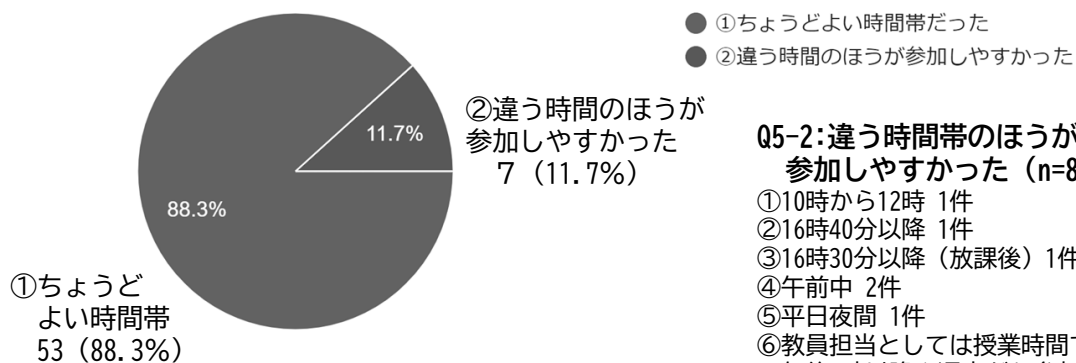


4. プログラムについてご感想、ご意見をご記入ください。

【トークセッション～本音で語り合う留学生の就職～】（自由回答）（n=35）

- ・介護の専門学校でもあり、介護施設さまのご意見・お話は参考になった。
- ・業界を3つに絞って、企業と専門学校が参加していたのが良い。
- ・リークラボ様が手書きの履歴書を出させるのは新鮮でした。
- ・実際に採用される時の重要視をされている部分などが聞いて良かったと思います。専門学校には様々な学生がいますが、教員そして就職担当として今後学生を教育していく上で参考になりました。
- ・留学生採用における各業界のニーズや動向について基礎的な内容を知る事が出来た。現在の新型コロナウイルスに関連した内容を重点的に知れると良かった。
- ・企業の方の具体的な留学生採用についての内容をお伺いすることができて大変勉強になりました。
- ・「介護」「建設」「貿易」と留学生の就職先として関わりのある業界、それぞれの特色・共通点が聞けてとても勉強になりました。
- ・留学生採用されている企業様にお聞きしたい代表的な質問だったので興味深く聞くことができました。
- ・語学力をアップさせるヒントを得ることができました。
- ・たいへん参考になりました。特に日本人と同等に採用されているところに共感しました。
- ・今、まさに就職活動の指導中でしたので大変参考になりました。
- ・企業の方がざっくばらんに話してくださった点が良かったと感じました。今後は、もし可能でしたら、他の業種の方（例えば観光、ICTなど）にも幅広くご意見を伺えればと感じます。
- ・留学生採用について企業側の本音が聞けて大変参考になりました。
- ・採用にあたって重視する点（日本語の程度）が参考になりました
- ・企業様の意見をお伺いできてよかったです。
- ・企業側の留学生を採用する視点について話を聞くことができ参考になりました。
- ・企業の方のお話をお聞きできて大変よかったです。
- ・大変参考になりました。もっとお話をお聞きしたかったです。
- ・非常に貴重な意見が聞けた。今後はもっとたくさん企業の採用担当者の話を聞いてみたい。
- ・いい内容だった。会話から色々なヒントが得られた。
- ・本日はありがとうございました。企業の方の考え等参考になりました。小pンゴの教育活動に生かしていけたらと思います。
- ・いろいろな話が聞けて参考になりました。企業の中に事務職などを採用されている企業がの話も聞きたかったです。
- ・今回、外国人採用に前向きな企業様の登壇だったので、正直有益な情報はなかったように感じた。逆に企業様で外国人採用に後ろ向きな理由など、本音で教えてほしかった。今後の対策のためにも。
- ・留学生採用に前向きな企業様の話が聞けましたが、逆に後ろ向きな企業様の後ろ向きな理由を聞きたかったです。
- ・業界や会社によって留学生に対する視点やとらえ方は様々なのだなという印象を持ちました。現在留学生が多く在籍しているホテル関係は就職が厳しく、求められる日本語能力も高くなっていると聞いています。国籍に関係なく、その人の魅力・能力で選考する会社が今後さらに増えていくとよいと思いました。
- ・少し企業の方が少ない印象でした。後何社か入れていただき多岐にわたる業種の方からお話が聞けるともっと参考になります。
- ・当校の学生とは分野も異なるため、参考として拝聴しました。もっと一般的に行われている採用試験の状況などについてお話いただけると良かったと思います。実際はN2程度の日本語力では内定をいただけないことが多いと思います。会話力の目安など、どの程度コミュニケーションが取ればよいのかなど、具体的に知りたいと思いました。
- ・白石先生の進行が良く、聞きたい事が聞けました。
- ・90分は長い。
- ・採用の前線におられる学校と法人それぞれの方の実質的なお話が聞けてためになりました。次回は参加者からの質問にもっと答えていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・色々な状況を聞くことができましたが、私が聞きたいと思う内容は少なかったです。
- ・設置分野は違いますが大変参考になりました。
- ・参考になりました（2件）
- ・各学校の貴重なご意見ありがとうございました。

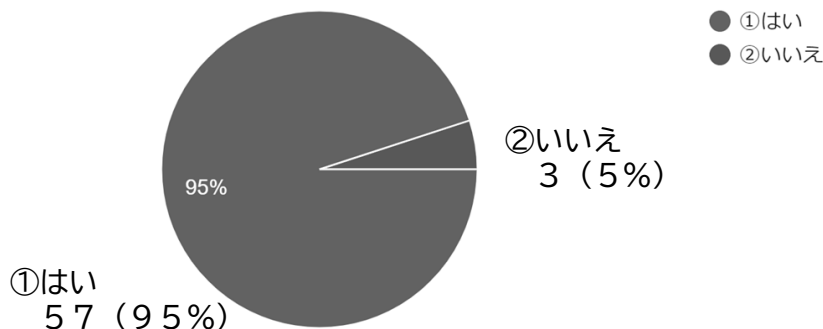
5-1. 実施時間帯についてご意見をお聞かせください。（n=60）



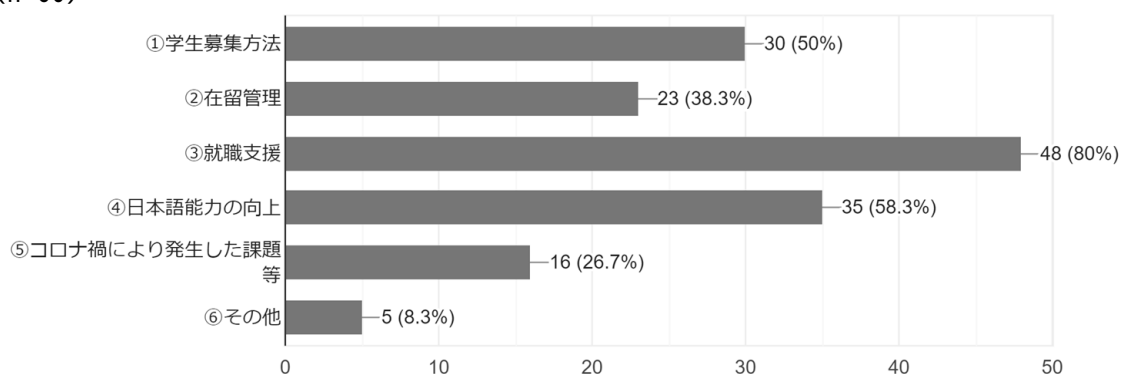
Q5-2: 違う時間帯のほうが参加しやすかった (n=8)

- ①10時から12時 1件
- ②16時40分以降 1件
- ③16時30分以降（放課後）1件
- ④午前中 2件
- ⑤平日夜間 1件
- ⑥教員担当としては授業時間でしたので、午後5時以降や週末だと参加しやすかった1件
- ⑦終了時間が15時30分くらいまで 1件

6. 本セミナーは、今後も定期的にシリーズ開催を予定しています。次回以降も継続して参加したいと思いますか？（n=60）



7-1. 「留学生支援」において、課題だと思われることはありますか？（複数回答可）（n=60）



7-2. 上記7-1で⑥「その他」と回答した方にお伺いします。具体的な課題をご記入ください。（n=4）

- ・就職先の開拓
- ・学校職員の留学生理解、留学生対応力
- ・「留学生が学びたい内容」が「ビザ取得条件を満たす内容」になっているコース内容を 企画立案していく必要性があるように思われます。
- ・留学生が在籍していないので、入学前から入学後の事務手続き（必要書類等）や懸念点など

8. 今後、取り上げてほしいテーマがございましたらご記入ください。（n=24）

- ・今回のように留学生を採用されている企業様の生の声を聞けるのはいい機会だと感じました。
- ・日常のサポートについて 国別の特徴など
- ・施設奨学金の考え方、取り組み
- ・留学生関係の現状について
- ・社会人としてのマナー教育
- ・日本語学科を除く専門課程での日本語指導
- ・留学生の生活支援体制について
- ・留学生の日本におけるコミュニティについて具体的に留学生自身から聞きたい
- ・専門学校として、留学生に対する取り組み方などを聞きたいです。
- ・特にございません
- ・留学生採用企業のための就労ビザ取得手続きのノウハウ
- ・採用側の企業のお話をもっと聞かせていただきたいです。
- ・学校側の実際になさっている就職活動支援の具体例等
- ・コロナ禍での留学生募集
- ・今回は、留学生採用に慣れておられる事業所様をお招きされていましたが、留学生を採用されたことがない事業所様に
対して、ビザの切り替えや申請のレクチャーをされる講習会や研修会があればと思いました。
- ・日本企業に内定した或いは日本企業で働いている外国人をパネラーとして招くセミナーがあれば参加してみたいです。
- ・専門学校での留学生の問題対応やビザなどの事務対応を具体的事例を交えて伺いたいです。
- ・母国での就職について専門学校ができること
- ・留学生を採用してみても感想は、継続して今後も様々な企業様の感想を聞いてみたい。
- ・コロナ終息後もオンライン教育は無くならないと考えています。そこで、将来のオンラインと対面の活用（すみ分け）
や、募集のあり方についてどのような方向性が考えられるのか、ご意見を伺えれば幸いです。
- ・現在日本語学校に在籍している留学生が激減しています。学生獲得競争が過熱しているなかで、ある種外国人募集がう
まくいっている専門学校様の募集方法、逆にうまくいっていない専門学校様の特徴など、本音で知りたいです。
- ・同様に留学生の採用について（異なった業界の登壇者のお話）
- ・留学生を入学させるにあたっての入学前から入学後の事務手続き（必要書類等）や懸念点など
- ・コロナ禍はいずれ解決する事と思われませんが、そのあとの外国人留学生の受け入れについて。

9. 本セミナーに関するご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。（n=22）

- ・いつも大変分かりやすく業務の参考になっております。
- ・今回、介護・建設等のジャンルだったので、次回は違うジャンルの学校様の話を聞きたい。
- ・双方向性をもっとあればなおよいセミナーになると思いました。
- ・お疲れ様でした。
- ・お世話いただきありがとうございました。
- ・本日はありがとうございました。
- ・開催いただきありがとうございました。
- ・ありがとうございました。大変参考になりました。ぜひ今後も継続して発信いただきたいと思います。お疲れ様
でした。
- ・企業の考え方が理解できました。ありがとうございます。
- ・大専各のウェビナーとして、過去最高にスムーズな運営だったと思います。お疲れさまでした。
- ・参加させていただきありがとうございました。とても参考になりました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・貴重な機会を設けて頂きましてありがとうございました。特にリークジャパン様には弊社学生を3名もご採用して
頂き感謝しております。今も在職しているようで一安心です。今後とも面倒をお掛け致しますがご指導の程宜し
くお願い申し上げます。
- ・時間帯もちょうどよく参加しやすいためよかったです。前回は参加させていただきましたが、質疑応答ではより
本音が聞ける部分が多いと思うので、時間が少なくなってしまうのが残念に思いました。
- ・就職、カリキュラムの観点から「専門学校が大学に勝る点」を討論するような場をご提供いただければ幸いです。
- ・留学生の就職活動を支援する上での重要な参考になりました。ありがとうございました。
- ・大阪の学校様の連合会にもかわらず全国を対象としてセミナーを実施していただき、大変感謝しております。
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・貴重な機会をいただきありがとうございました。また次回のご案内を頂戴できれば幸いです。
- ・パネルディスカッションで、積極的な意見交換がみたいです。
- ・今回お話くださった会社以外の業界の企業様の担当者のお話も聞きたいです。
- ・他業種、そして他の専門学校の参加も期待したい。
- ・特に無し。
- ・特にございません。

第五回専門学校教職員向けオンラインセミナー

今こそ考える留学生支援 -コロナ禍における専門学校のチャレンジ-
～観光業界の今とこれから 留学生の活躍を考える～

令和4（2022）年1月28日（金） 15:00～16:30実施

アンケート結果報告書 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

開催日時

【第五回】令和4（2022）年1月28日（金）

主催：一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会

協力：公益財団法人 大阪観光局

開催時間：15:00～16:30

開催方法：Zoomによるオンラインセミナー

参加費：無料

対象者：専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員

開催要項：コロナ禍で打撃を受けた観光業界ですが、2025 年の大阪万博への期待とも相まって回復発展が予想されます。「観光」をテーマに留学生の就職状況やこれからの期待される活躍について可能性を探っていきます。

トークセッション

<トークセッション ～観光業界の今とこれから 留学生の活躍を考える～>

ファシリテーター：ECC国際外語専門学校 白石 一幸

【パネリスト】

・公益財団法人 大阪観光局

・帝国ホテル大阪

・大阪ホテル専門学校

・ECC 国際外語専門学校

■大阪観光局の取り組み

■質疑応答

■大専各からのご案内

視聴者数

申込者数：65校6団体 109名 ※次ページ参照

視聴者数：最大97名 ※パネリスト含む

平均視聴時間：76.7分

事前予約内訳

合計109名 65校6団体（65校101名+企業1名団体7名）

（北海道1名／福島県3名／群馬県3名／埼玉県1名／千葉県1名／東京都9名／神奈川県2名／静岡県1名／新潟県2名／富山県1名／石川県1名／岐阜県1名／山梨県2名／三重県3名／大阪府36名／奈良県3名／岡山県8名／広島県2名／香川県6名／福岡県8名／佐賀県2名／長崎県1名／熊本県2名／沖縄県2名／企業その他8名）

【大阪】学校法人上田学園(1)/上田安子服飾専門学校(1)/学校法人エール学園(6)/大原外語観光＆ブライダルビューティー専門学校(1)/大阪コミュニティワーカー専門学校(1)/大阪航空専門学校(3)/大阪バイオメディカル専門学校(2)/大阪YMCA国際専門学校(3)/関西外語専門学校(2)/関西経理専門学校(3)/近畿社会福祉専門学校(1)/修成建設専門学校(1)/学校法人清風明育社 清風情報工科学院(1)/トラベルジャーナル学園(1)/ホスピタリティツーリズム専門学校大阪(1)/学校法人ロイヤル学園(1)/学校法人村川学園(1)/中央工学校OSAKA(1)/辻調理師専門学校・辻製菓専門学校(1)/日本メディカル福祉専門学校(1)/日本理工情報専門学校(1)

【大阪以外】（福島）FSGカレッジリーグ（1）/郡山健康科学専門学校（2）/（東京）学校法人 三幸学園(2)/駿台法律経済＆ビジネス専門学校（1）/大原簿記学校（1）/東京ホテル・トラベル学院専門学校(1)/（神奈川）外語ビジネス専門学校(2)/（静岡）浜松未来総合専門学校（1）/（千葉）千葉葉事専門学校(1)/（群馬）中央情報経理専門学校（3）/（埼玉）越生自動車大学校（1）/（新潟）学校法人 国際総合学園(2)/（岐阜）中日本航空専門学校（1）/（富山）富山情報ビジネス専門学校(1)/（石川）金沢福祉専門学校(1)/（三重）ユマニテクライフデザイン専門学校(2)/（三重）学校法人みえ大橋学園（1）/（奈良）学校法人 永井学園（1）/奈良コンピュータ専門学校（2）/（広島）IGL医療福祉専門学校（1）/穴吹学園福山校（1）/（岡山）岡山科学技術専門学校(3)/岡山商科大学専門学校（3）/岡山情報ビジネス学院(1)/美作市スポーツ医療看護専門学校（1）/（香川）学校法人穴吹学園（5）/穴吹カレッジグループ（1）/（福岡）学校法人麻生塾（2）/西鉄自動車整備専門学校(1)/専門学校麻生医療福祉＆観光カレッジ（1）/福岡外語専門学校(1)/麻生外語観光＆製菓専門学校(3)/（佐賀）CODO外語観光専門学校（2）/（長崎）長崎医療こども専門学校(1)/（熊本）熊本工業専門学校(1)/専門学校湖東カレッジ（1）/（沖縄）沖縄アカデミー専門学校（1）/沖縄ラフ＆ピース専門学校(1) 【日本語学校】（大阪）大阪文化国際学校（1）/ワン・パーパス国際学院（1）/（東京）赤門会日本語学校(1)/日本東京国際学院（3）/（北海道）北海道HSL日本語学校（1）/（山梨）ふじやま国際学院（2）

【企業・団体・行政】

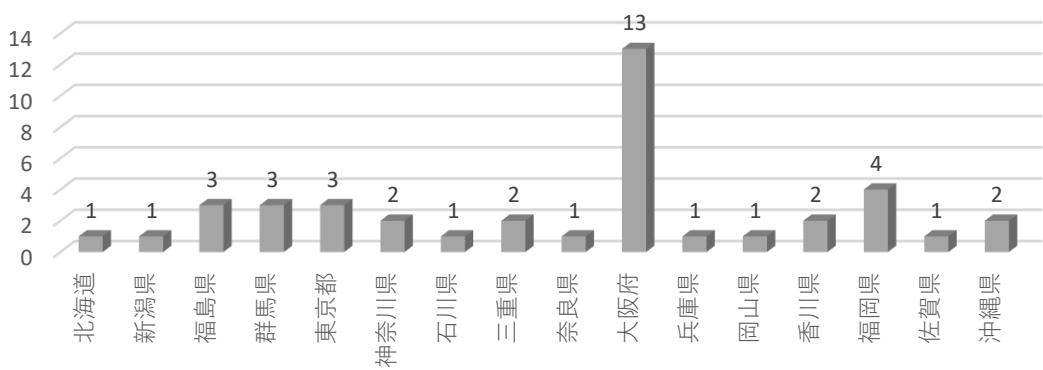
（大阪）エイライン（1）/（神奈川）（一社）神奈川県専修学校各種学校協会(1)/（東京）全国専門学校協会(1)/（沖縄）沖縄県専修学校各種学校協会(1)/（大阪）大阪府（3）/大阪出入国在留管理局（1）

セミナー中にあがった質問（チャット）

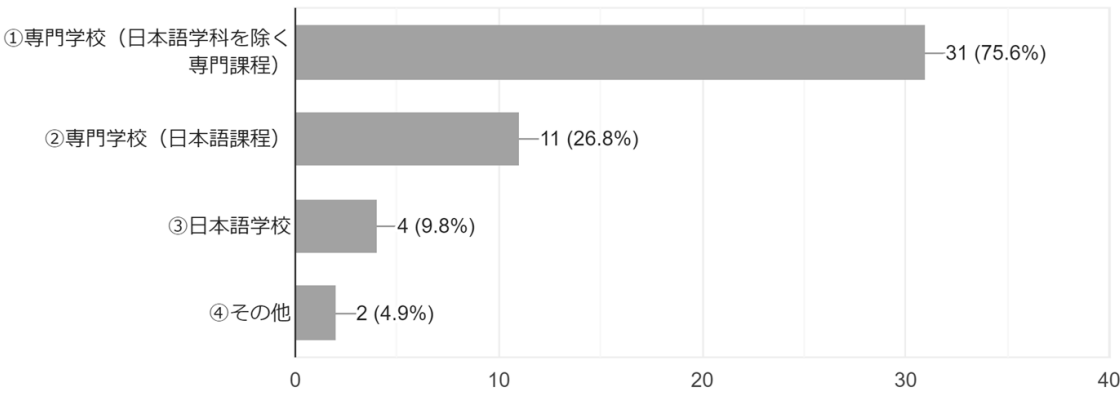
- ・帝国ホテル様への質問です。求める人材に変化はありますか？
- ・専門学校のカリキュラムのお話でお聞きしたいのですが、現在コロナでインターンシップを行えていないとお聞きしました。そのようなインターンシップが行えなかった場合、成績などはどのようにつけられていますでしょうか？インターンシップが必須科目であるのであれば、どのような対応をなさっているかお聞きしたいです。
- ・山田先生より旅館の仕事の幅の広さに対応するために、技人国より特定技能ビザでの就職を求められているという話がありましたが、授業科目としてレストランサービスやベッドメイキング等を取り入れている場合、シラバスの提出により技人国ビザを取ったうえで、幅広い職務に就くことの可能性はいかがでしょうか？
- ・学校の先生方へご質問です。オンラインが増え、できなくなった内容に対する能力の補填はどうされていますか？
- ・英語力が低いベトナム人は、ほかの国籍の学生と一緒に授業でしょうか？また何か工夫している点はございますか？
- ・コミュニケーション能力をあげるための授業の具体的な内容を教えていただきたいです。

アンケート回答者数41名

1. 学校所在地を教えてください。（n=41）

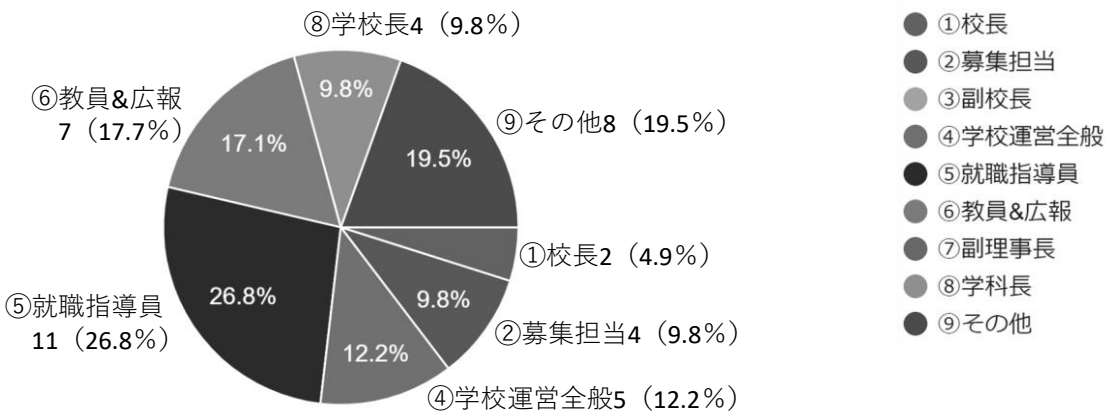


2. どの教育機関に所属されていますか。（複数回答可）（n=41）



※その他のうち1件 ④神奈川県専修学校各種学校協会

3. 学内の業務についてお答えください。（n=41）

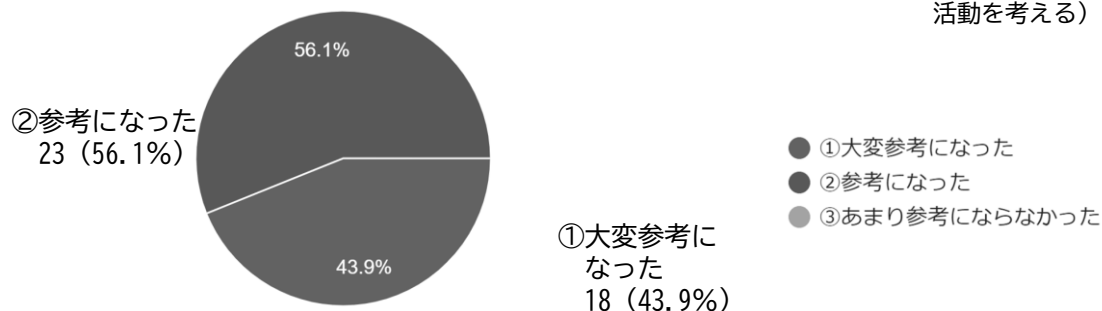


4-2. プログラムについてご感想、ご意見をご記入ください。Q4-1で①～③を選ばれた理由もご記入ください。（自由回答）（n=20）

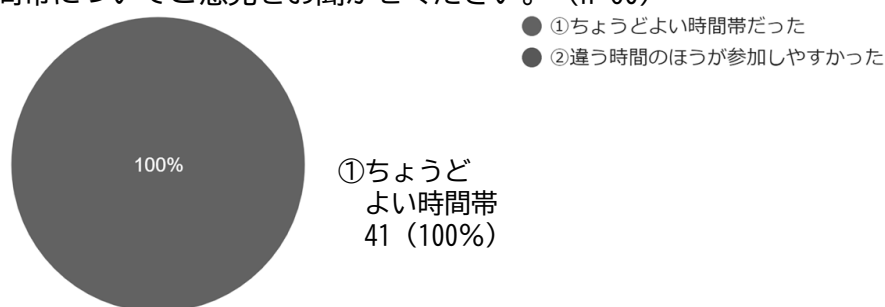
- ・インターンの実施、ホスピタリティーについての教育など、参考になりました。
- ・私共の専門学校は、留学生のITやプログラミングスキルを育成する学科な為②「参考になった」を選択させていただきました。ホテル業界に直接関係はない学科かもしれませんが、「留学生の就職」を考えたときに様々な業界を知りたくて今回参加させていただきました。
- ・大変興味深いお話が多く、とても学びの多い時間でした。司会進行も大変スムーズで時間があっという間に過ぎてしまいました。業界は違えど、留学生を育てる専門学校の共通の課題も改めて認識することができたので、非常に勉強になりました。貴重なプログラムを開催していただきまして、ありがとうございます。
- ・大阪観光局の方の専門学校や企業、自治体への働きかけに感動しました。こちらの自治体でもそういった取り組みがないか調べてみます。
- ・今回は観光業界に特化した内容であったが、他の業界の状況も知りたいです。
- ・ホテル業界に就職するために必要な学習、今後のホテル業界が求める人材、大阪観光局と留学生の取り組みを知り、参考になりました。今後の留学生運営に活かしたいと思います。
- ・ホテル業界の現状がわかった。
- ・留学生の観光業界への就職状況を聞いてよかった。
- ・コミュニケーションスキルについては観光だけではなく介護分野においても同様の観点が必要だと感じた。
- ・業界の方、専門学校の方それぞれの考え方、取り組みが聞いたことを大変参考になりました。
- ・行政、民間、教育の3方からの視点での話があり、非常に良かったです。
- ・公的な機関と留学生で提携している機関があり、支援ができていることが良いと思った。
- ・留学生の学力状況、就職状況は参考になり、大阪観光局の牧野氏のコロナ終息後の外国人観光客は必ず増えるは期待が持てるので良かったです。
- ・観光業界における教育から就職までの流れ、そして現在、求められている学生像が理解できた。また、大阪府観光局様の取り組みが留学生支援に影響していることも再認識できました。
- ・帝国ホテル様のお話、一流の現場のお話を含め、各専門学校様の取り組みや現状が伺えて、今後の指導内容にも入れたいと思います。
- ・コロナ禍における就職状況や学校運営状況について非常時参考になりました。
- ・特定技能、技人国についての考え方、指導についてご意見を伺えて参考になりました。
- ・英語力が大事ということが心に残りました。
- ・他校の動きを知ることができ、とても良い機会であったと思います。
- ・採用する側と受験する側の特定技能枠に対する見方の違いを知れた。
- ・それぞれのホテル様や学校様のお話は大変参考になるところも多かったですが、学校自体がまだ新設でハード面（設備）の面でもソフトの面でも整っていません。正直、学生の日本語力もレベルが低く、比較にできないところもありました。まだ規模が小さいので本校を選んでくれた学生に対し真摯に向き合い一人一人を丁寧にサポートできているというのが「売り」ですが、さらに実習の場や彼らの日本語能力、英語能力、コミュニケーション能力を伸ばすためにできることをわが校なりに工夫して増やしていきたいと思いました。

4-1. プログラムについてご感想をお聞かせください。

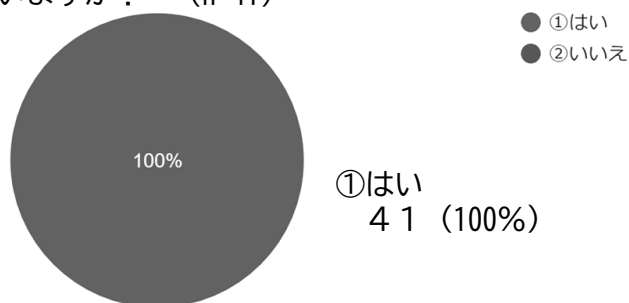
【今こそ考える留学生支援・コロナ禍における専門学校のチャレンジ（観光業界の今とこれから 留学生の活動を考える）】（n=41）



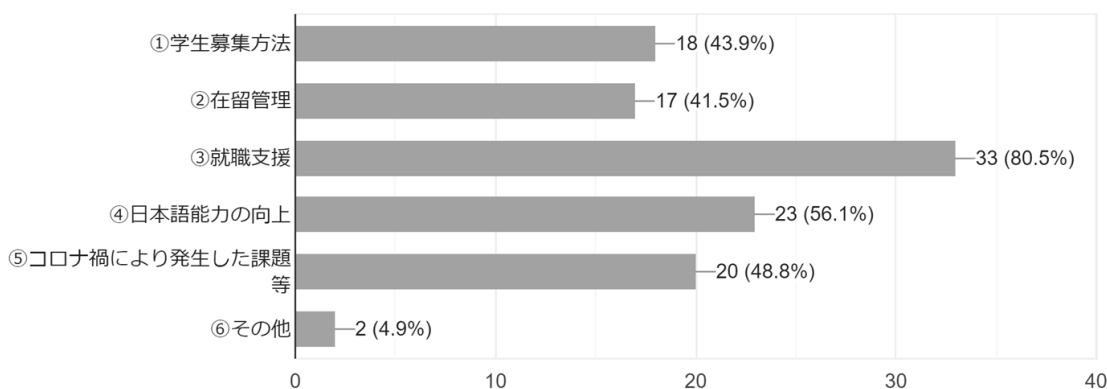
5-1. 実施時間帯についてご意見をお聞かせください。（n=60）



6. 本セミナーは、今後も定期的にシリーズ開催を予定しています。次回以降も継続して参加したいと思いますか？（n=41）



7-1. 「留学生支援」において、課題だと思われることはありますか？（複数回答可）（n=41）



⑥「その他」の具体的内容

- ・進学支援、病院や区役所などの手続き等における言語対応、法律やマナー
- ・留学を希望する外国人が日本に入国できなくなって3年目に突入しようとしています。「留学生支援」は在日外国人留学生から「日本に留学を希望する外国人」にシフトするべきと思います。

8. 今後、取り上げてほしいテーマがございましたらご記入ください。

14 件の回答

■学生募集関連

- ・日本に留学を希望する外国人を、日本に入国させる方法。
- ・募集。

■就職関連

- ・引き続き多様な業種での現状や留学生の採用の状況など。
- ・留学生のIT業界の就職について。IT業界が留学生を求めるのか。どのような人材を求めるのか。
- ・今回の観光業界で、もう少し参加していただけるホテル旅館様を増やしていただいて、第2回を実施していただきたいです。
- ・地方の観光求人状況。
- ・就職。
- ・留学生の就職につながるインターンシップの取り組みについて。
- ・技人国ビザと特定技能ビザの今後。
- ・総合職として就労ビザを取得する留学生について。
- ・留学生の特定技能について。

■日本語教育関連

- ・日本語能力が向上した授業の取り組みの共有。
- ・修学しながらの日本語能力のスキルアップはどうされているか（日本語学科以外）。

■その他

カリキュラム編成

- ・留学生の教育効果を上げる手法など。
- ・ご案内頂いているテーマが勉強になりますので、こちらかは特にございません。
- ・在留資格変更申請の課題など。

9. 本セミナーに関するご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。（n=13）

13 件の回答

- ・大阪ではない外部の人間にもかかわらずいつもお世話いただきありがとうございます。
- ・毎回参加させていただいておりますが、いつも参考になるものばかりで助かっています。
- ・他業界の就学生就職に関する取り組み。
- ・いつも楽しみに参加させていただいています。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・いつもありがとうございます。参考にさせていただいております。
- ・全国の専門学校に対して、先進的な取り組みだと考えます。ありがとうございます。
- ・短時間で観光局、就職先であるホテル、教育する専門学校が登壇し意見を聞くことができたので非常に良いセミナーだと思います。
- ・セミナーお疲れ様でした。大阪府の専門学校における留学生の現状がよく分かりました。ありがとうございました。
- ・すぐ参考になりありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・いろいろと大変参考になりました。有難うございました。
- ・特にございません。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。

企業向け留学生採用セミナー

令和3（2021）年10月14日（木）15:00～17:00実施

アンケート結果報告書 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

開催日時

企業向け留学生採用セミナーを開催し、留学生採用意欲向上を目指す。留学生の採用がポストコロナを見越した社会で重要な役割を担うこと、即戦力足り得ること、また社内の多様性の実現など様々な課題に応える貴重な人財となることを啓蒙・啓発する。

【共 催】 大阪商工会議所
【協 力】 留学生支援コンソーシアム大阪
公益社団法人 関西経済連合会ABCプラットフォーム
大阪出入国在留管理局
一般社団法人 Transcend Learning
【後 援】 大阪府
独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）
【日 時】 2021年10月14日（木）／ 15：00～17：00
【方 法】 Zoomによるオンラインセミナー
【参加費】 無料
【定 員】 300名

プログラム

司会：近畿社会福祉専門学校 岡田 智幸

14：45～ Zoomミーティングルーム オープン

15：00～15：05 <主催団体からの挨拶>
（一社）大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 富永 桂多

15：05～15:50 <特別講演> これからの大阪。成長戦略に必要な多様性とは
（45分）
（公財）大阪観光局 理事長 溝畑 宏
（学）エール学園 理事長 長谷川 恵一
コーディネーター：（一社）Transcend Learning 事務局長 吉田 圭輔

15：50～16：10 <講演> 外国人留学生採用のススメ ～専門学校と協力する持続可能な人財採用～
（20分）
（一社）大阪府専修学校各種学校連合会
留学生委員会委員長 山下 裕貴

16:10～16:15 <共催団体からの挨拶>
大阪商工会議所 人材開発部長 大阪企業家ミュージアム 事務局長 興津 厚志

16:20～17:00 <分科会 ブレイクアウトルームに分かれて実施。>
（40分）

テーマ.1 観光を学ぶ留学生の声を聞く（エール学園 在校生）
テーマ.2 自動車整備を学ぶ留学生の声を聞く（日本理工情報専門学校 在校生）
テーマ.3 介護留学生が就職先を選ぶ決め手とは（近畿社会福祉専門学校在校生・介護事業者）
テーマ.4 日本で起業した元留学生の話（エール学園 卒業生）
テーマ.5 留学生をはじめて採用した企業の話（建築設計：コンパス建築工房）
テーマ.6 留学生の採用に関する入管手続き等について（大阪出入国在留管理局）
テーマ.7 専門学校の進路担当と話す 専門学校Q&A（ECC国際外語専門学校）

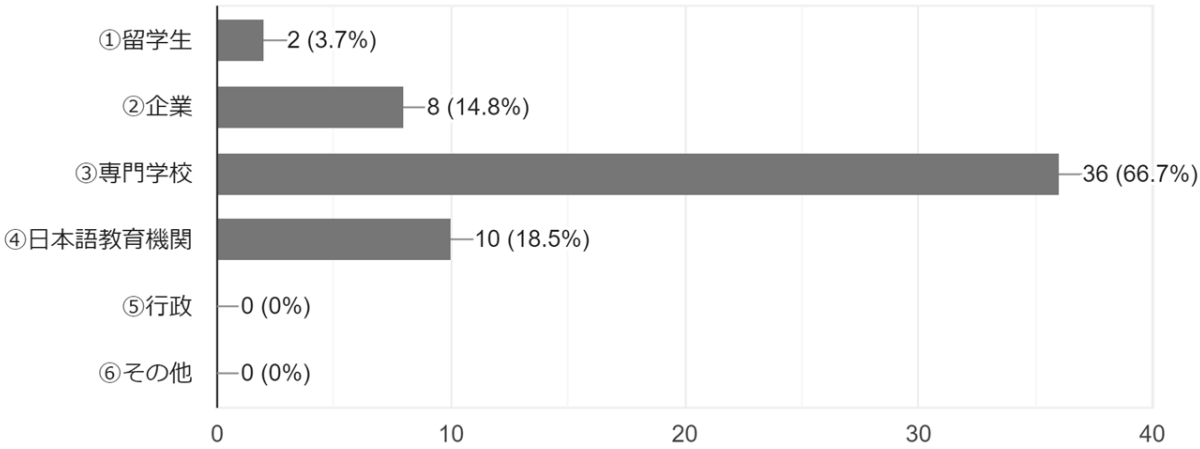
視聴者数

申込者数 ： 193名（企業68 学校110 学生15）
)

最大視聴者数：175名 ※運営含む

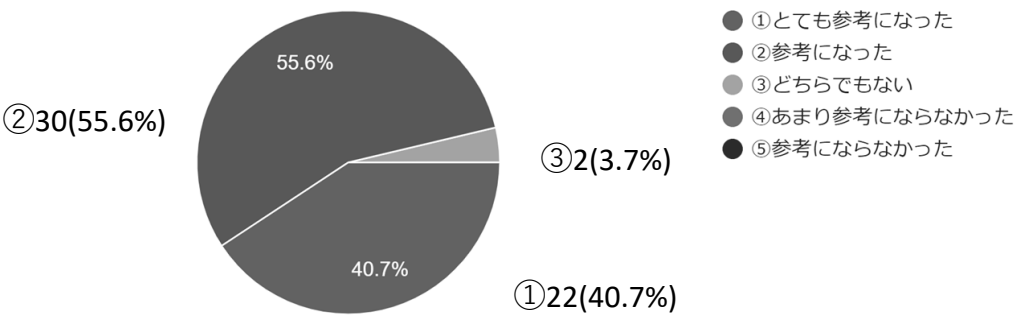
アンケート回答者数54名

1. 該当するものにチェックを入れてください。（n=54）

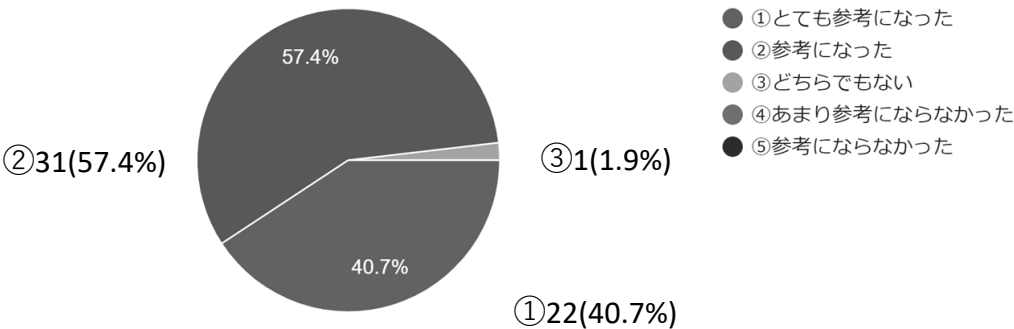


2. それぞれのプログラムについてご感想をお聞かせください。

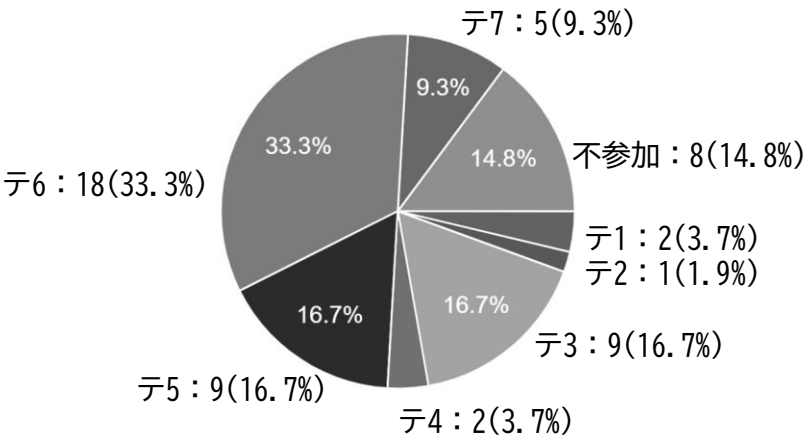
<特別講演>「これからの大阪。成長戦略に必要な多様性とは」（n=54）



3. <講演>「外国人留学生採用のススメ～専門学校と協力する持続可能な人財採用～」
54件の回答（n=54）

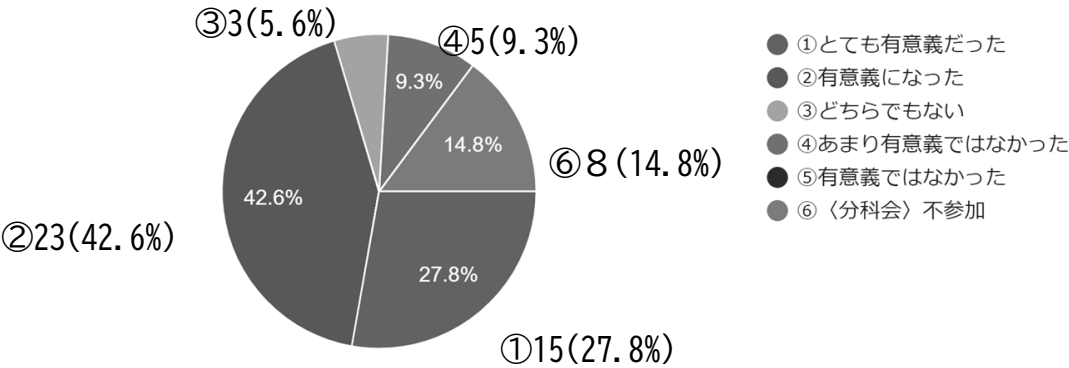


4. 〈分科会〉参加された分科会をお聞かせください。（n=54）

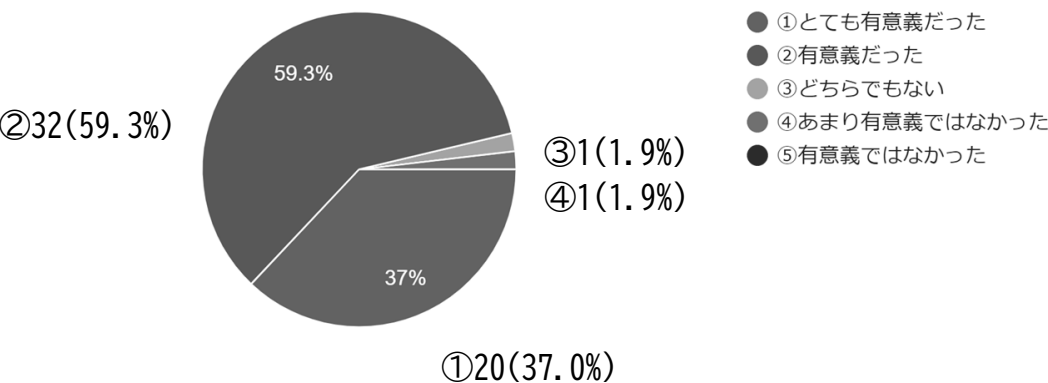


- テーマ1 観光を学ぶ留学生の声を聞く（エール学園 在校生）
- テーマ2 自動車整備を学ぶ留学生の声を聞く（日本理工情報専門学校 在校生）
- テーマ3 介護留学生が就職先を選ぶ決め手とは（近畿社会福祉専門学校在校生・介護事業者）
- テーマ4 日本で起業した元留学生の話（エール学園 卒業生）
- テーマ5 留学生をはじめて採用した企業の話（建築設計：コンパス建築工房）
- テーマ6 留学生の採用に関する入管手続き等について（大阪出入国在留管理局）
- テーマ7 専門学校の進路担当と話す 専門学校Q&A（ECC国際外語専門学校）

5. 〈分科会〉のご感想をお聞かせください。（n=54）



6. 本セミナー全体のご感想をお聞かせください。（n=54）



7. 本セミナー全体についてご感想・ご意見・ご要望などを具体的にご記入ください。
〈開催時期、開催時間、セミナーの内容、分科会（ブレイクアウトルーム）参加の感想など〉
（自由回答）（合計n=31）

【専門学校】 23件の回答

- ・分科会で留学生にもっと就職活動で困ったことや、企業に採用して気づいたこと、困ったことなども伺いたかったです。（個人の話ではなく、外国人を採用して日本人の採用との違いという視点で。）
- ・参加させていただきありがとうございます。分科会で説明の時間を簡潔にし、質問対応時間を増やしていただいた方が、より有意義な買いになったと思います。
- ・これから大阪が留学生受け入れに向けて大きく改革をしていくことが伝わりました。これを受けて、今後関西圏の企業は外人の雇用を積極的に行っていくようになるのではと感じられました。また、このようなりモートの場合は、極力ゆっくりははっきりお話していただきたいです。通信状況や個々の機器の状態によって聞こえ方が不安定になります。
- ・分科会の時間が少し足りないように感じました。
- ・ブレイクアウトルームが不安定で、メインルームに戻ってしまう事が度々あり、セミナーが中断され残念でした。質疑応答の時間ももう少し長いと良いと思いました。
- ・急な学生対応で分科会に参加出来ず、申し訳ございませんでした。
- ・接続が悪くなり、聞き取りにくくなった。
- ・分科会のネット切断が無ければ、もっとスムーズに交流できた気がします。
- ・途中5分でも休憩があれば、ありがたかったです。
- ・今後の大阪府の成長戦略と世界に向けた視野について感銘を受けました。
- ・各所で取り組んでいる概要が理解できてよかったです。
- ・「留学生の採用に関する入管手続き等について」に参加させていただきましたが、初めての方向けの内容でしたので、私としては残念でした。
- ・毎回参考になる内容でありがたいです。今後もよろしくお願いいたします。
- ・都合により途中退出致しました、失礼いたしました。溝畑氏の力強メッセージに勇気づけられました。
- ・分科会に移動した後、ネット回線が悪くなってしまいほぼ聞き取る事ができなかった。受信側・発信側の環境整備が必要かと考える。また参加した方の内何名がスムーズに視聴でき、何名が視聴できなかったのか人数を把握したほうが良いと考える。もしほぼ全員がスムーズに視聴できていなかったとすれば今後この方法でセミナーを開催するのは相談が必要かと思う。
- ・セミナー開催ありがとうございました。オンラインだったおかげで参加できました。もしも、どこかで開催されていたら、本務校の授業の関係で参加できなかったと思います。今後はもう少し 質疑応答の時間を多めにしていだいて開催して下さることを期待しております。
- ・分科会が複数あったので終わってから内容を拝聴できる仕組みがあるとありがたいです。
- ・大阪のこれからの留学生受け入れ戦略について知ることが出来とても有意義であったと思います。
- ・入室時に名前と学校名を記入させるやり方が間違っていた。
- ・大変参考になり有難うございました。
- ・大変参考になりました。
- ・ブレイクアウトルームの活用がうまくいけば、より良いものになったかと思います。いつもありがとうございます。
- ・お世話になります。授業後の参加で、バタバタしており、遅れて入室、分科会是不参加で申し訳ございませんでした。またの機会に参加したいと思います。

7. 本セミナー全体についてご感想・ご意見・ご要望などを具体的にご記入ください。
〈開催時期、開催時間、セミナーの内容、分科会（ブレイクアウトルーム）参加の感想など〉
（自由回答）

【日本語学校】5件の回答

- ・入管との質疑応答の時間を増やしてほしい。
- ・当日の資料などがチャットなどでいただけたとありがたかったです。
- ・全体的にネットの調子が悪いようでした。分科会では何回かメインルームに戻されました。
- ・貴重なお話ありがとうございました。
- ・ブレイクアウトルームの段取りが不十分だった。

【企業】3件の回答

- ・分科会は1つしか選べないのが残念でした。他のテーマも参加したいものがありましたが、途中で代わるのも気が引けます。各分科会の録画が視聴できるといいですね。
- ・卒業生のレベルの高さに感心致しました。今後の採用に非常に参考になりました。
- ・分科会におきまして、参加者のほとんどが専門学校関係者の方がほとんどでしたので、企業として参加するのは場違いかと感じました。

8. 最後に、今度取り上げてほしいテーマをご記入ください。（自由回答）（合計n=19）

【専門学校】14件の回答

- ・Q7の回答を取り上げていただければ助かります。
- ・専門学校に通う留学生の、就職に関するテーマのもの。①選考学科と仕事についての詳しい話①特定技能に関するテーマ以上でお願いいたします。
- ・出身国の違いによる、留学生の気質や留学目的の違いに関して取り上げて頂きたいです。
- ・留学生への学習、生活面のサポートなど。
- ・専門学校卒の留学生の採用をされない企業の理由。そしてそのような企業へのアプローチ応募者（留学生本人）と就職支援（学校職員）の立場から考えるような場があればと思います。
- ・問題点やトラブル対応事例などを聞くことができればいいな、と思います。
- ・特に無し。
- ・行政の補助金活用について
- ・同じく留学生採用について
- ・同様に留学生採用飲みテーマ
- ・メールが「迷惑メールフォルダ」に入っていたため回答が送ましたことをお詫び申し上げます。
- ・今は思い付きません。
- ・コロナの影響で日本に留学生が入国できていない状況がありますが、今後の専門学校の状況や入学者がいない年の学校運営など取り上げていただきたいです。
- ・企業様の求める人物像（外国人労働者に対して）を知りたいです。それから、実際に外国人を採用されている企業様の最近の悩みごと（頭の痛いこと）を知りたいです。よろしくお願いいたします。

【日本語学校】5件の回答

- ・日本語教育機関は専門学校との繋がりはあっても、企業と繋がるのが難しいので、「日本語教育機関・専門学校・企業」で意見交換ができると、新しい気づきがあり有意義なセミナーになると思う。
- ・入管の審査官の話を聞きたい。
- ・最近の就労、特定VISAの発給状況 専門卒の就労には専門性とのマッチングが必要と伺っております。もし、専門性とマッチングしていると思ったのに、専門性という点で就労ビザが下りなかった事例などがありましたら、教えてください。
- ・また、就労ビザが下りなかった際に、特定技能を勧められるケースなども出てきているようでしたら、その辺りの情報もいただきたいです。
- ・ビジネス系の専門学校の就職指導について
- ・今後（コロナ禍後、10年後、20年後など）の留学先の市場予測、また日本での留学生の就職状況やニーズが高まる業種等について知りたいと思っています。

【企業】0件の回答

企業と専門学校 つながる就職セミナー

令和3（2021）年11月16日（木）実施

アンケート結果報告書 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

開催日時

令和3（2021）年11月16日（木）

※2021年11月19日資料内容

■趣旨

本イベントは、留学生採用に意欲ある企業と専門学校キャリア担当者が集うオンラインの合同就職セミナーです。企業にとっては求人票だけでは語れない『会社の魅力・求める人材像』など、直接、専門学校キャリア担当に話ができる絶好の機会となります。また、専門学校にとっても、コロナ禍で求人企業開拓が容易でない中で採用意欲ある企業との接点がもてます。様々な業種・分野の企業や専門学校が参加することで、新たなつながりを構築できるマッチングセミナーを目指します。

【主催】一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

【共催】大阪商工会議所

【協力】留学生支援コンソーシアム大阪、一般社団法人 外国人留学生高等教育協会 ※9月30日現在

【時間】各社30分のオンラインの説明・交流会を実施。

【方法】オンライン（お申込後、特設サイトをご案内します）

【費用】無料

【対象】企業100社程度（1社30分）／専門学校教職員150名程度

■出展企業 11社

社会福祉法人池田さつき会／社会福祉法人優心会／大和冷機工業株式会社／株式会社オフィスインテリア／株式会社ナッセ／株式会社リープ／三宝電機株式会社／株式会社カットツイン／社会福祉法人ラポール会／株式会社アイデス／植田建設工業株式会社

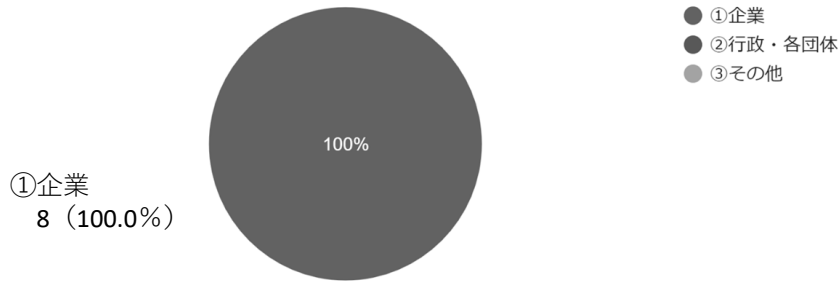
※いすゞ自動車近畿株式会社はキャンセル

■専門学校 49名

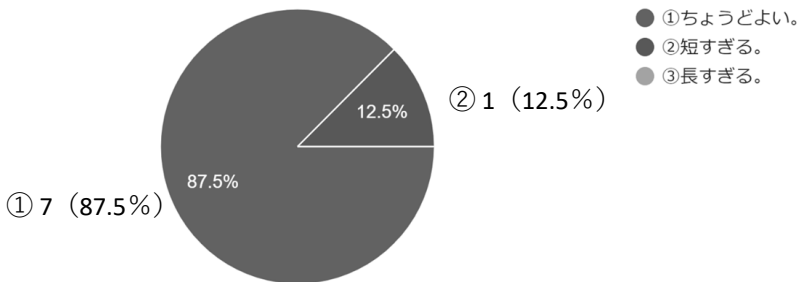
修成建設専門学校／大阪総合デザイン専門学校／中央工学校OSAKA／清風情報工科学院／ECC コンピュータ専門学校／ECCコンピュータ専門学校／大阪YMCA国際専門学校／ECCコンピューター専門学校／大阪情報コンピュータ専門学校／学校法人トラベルジャーナル学園／学校法人穴吹学園／学校法人穴吹学園／清風情報工科学院／岡山商科大学専門学校／奈良コンピュータ専門学校／奈良コンピュータ専門学校／奈良コンピューター専門学校／国際ことば学院 富士山日本語学校／奈良コンピュータ専門学校／名古屋大原学園静岡校／麻生専門学校グループ／関西経理専門学校大阪電子専門学校／国際ビジネスデザイン専門学校／マロニエファッションデザイン専門学校／和歌山YMCA国際福祉専門学校／金沢福祉専門学校／ECCコンピュータ専門学校／岡山科学技術専門学校／上田学園／大阪バイオメディカル専門学校／ECC国際外語専門学校／ECC国際外語専門学校／ポプラ介護福祉学校／森ノ宮医療学園ウェルランゲージスクール／学校法人ロイヤル学園／あんしん保証株式会社／大阪観光ビジネス学院／学校法人花園南学園大阪観光ビジネス学院／大阪観光ビジネス学院／関西経理専門学校／関西経理専門学校／ECCコンピュータ専門学校／岡山商科大学専門学校／駿台観光＆外語ビジネス専門学校／日本メディカル福祉専門学校／日本理工情報専門学校／学校法人上田学園

1. アンケート回答者数【企業】8名

1. 該当するものにチェックをいれてください。（n=8）



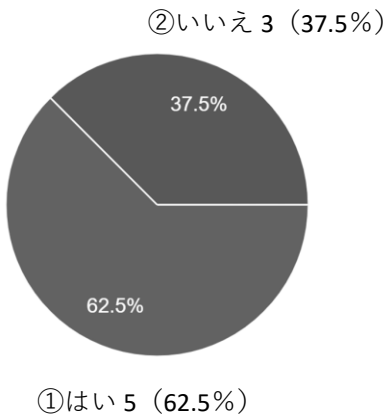
2. 1社30分という時間についてご意見をお聞かせください。（複数回答可）（n=8）



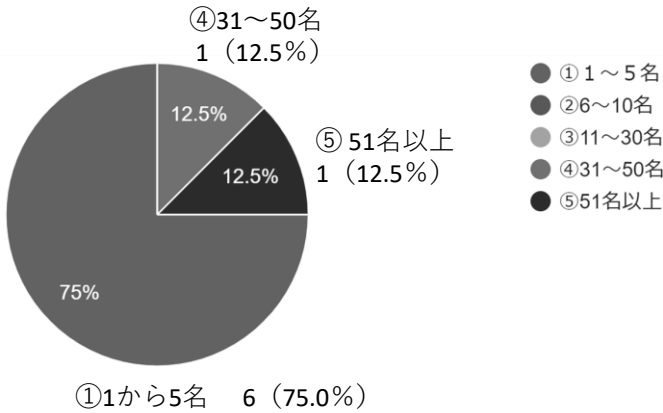
3. Q2で「②長すぎる」「③短すぎる」と回答した方にお伺いします。ちょうどよい時間をお聞かせください。（n=2）

- ・キャリア担当の先生向けの会社紹介は初めてだったので、設定時間が妥当だったのか正直なところわかりません。
- ・初対面ということもあり、あと15分（計45分）あれば質疑が深まったと思います。

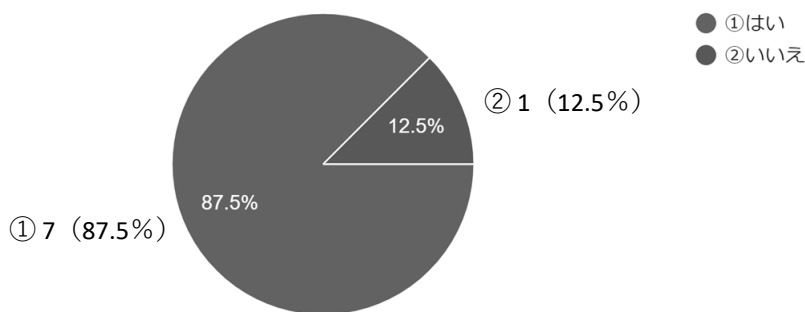
4. 御社には、現在外国人材はいますか？（n=8）



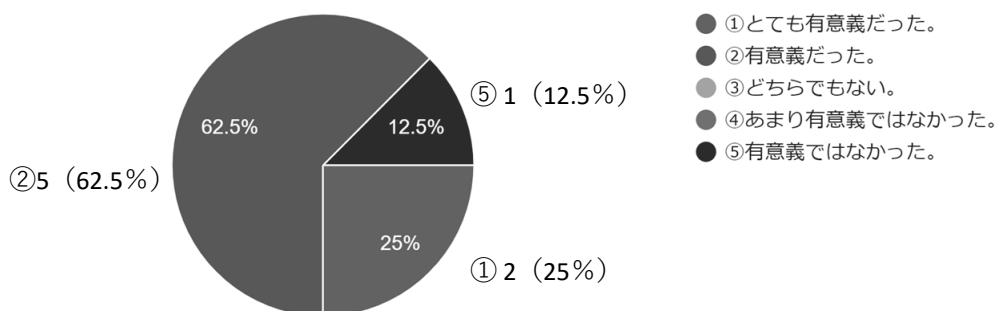
5. 「①はい」と回答した方にお伺いします。御社の外国人材の人数をお聞かせください。（n=8）



6. Q4:御社の希望する専門学校と「つながる」ことができましたか？（n=8）



7. 本セミナーのご意見・ご感想をお聞かせください。（n=8）



8. 今後も専門学校の外国人留学生を対象とした就職セミナーを実施予定です。御社が希望するセミナーのテーマや実施してほしいイベントなどがありましたら具体的にご記入ください。（n=3）

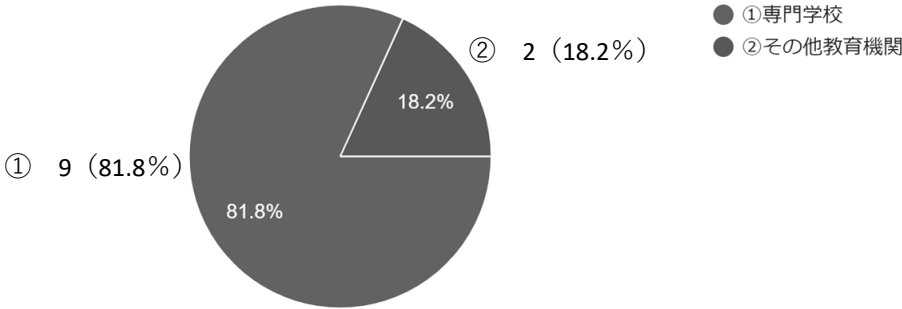
- ・外国人留学生に限定しないものを希望します。→在籍学生ひとくくり、その中に留学生も含む、という表現のもの。
- ・対面方式の合同企業説明会を希望する。留学生と日本人学生が一緒でも可。
- ・既に存在する内容かと存じますが、在留資格者の手続き内容等を、採用側が把握しておくことが大切だと感じましたので、関連する内容を希望します。

9. 本セミナーについてのご感想・ご意見・ご要望などを具体的にご記入ください。（n=7）

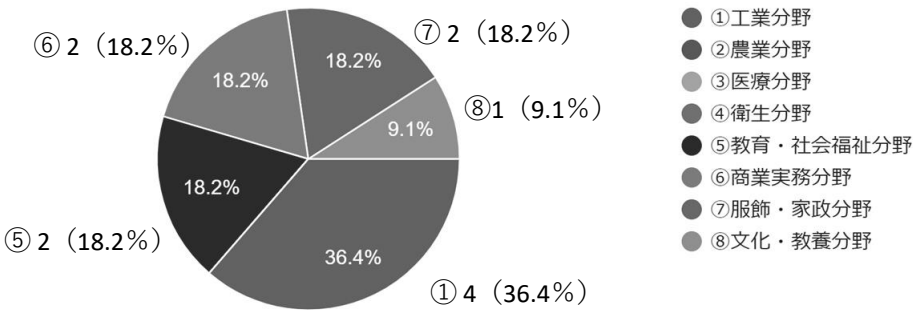
- ・ネットトラブルにより、開始時間に間に合わずご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。
- ・事前に参加希望者がいるかの確認をしていただけると助かります。日程変更依頼があったにもかかわらず、0人であれば準備等の時間を考えるとかなり勿体無いと感じました。
- ・専門学校の皆様と直接お話しする中で、当法人の課題や今後の展望など、より深く見えてくるものがございました。今後も外国人留学生採用を継続する予定の当法人にとって、このような機会は貴重かつ意義のあるものとなりました。当日の運営やご案内に関しまして、あわせてお礼申し上げます。ありがとうございました。
- ・専門学校の先生とつながる良い機会を得た。
- ・面談させていただいた学校様の連絡先を頂けてないので、頂きたいと思います。
- ・弊社としては、非常に有意義な場になりました。今回のような場は今後も継続してほしい。
- ・昨今の情勢もありますが、慣れないWEB面談でしたので、いずれは直接皆さまとお会いした面談を希望します。

1. アンケート回答者数【専門学校】11名

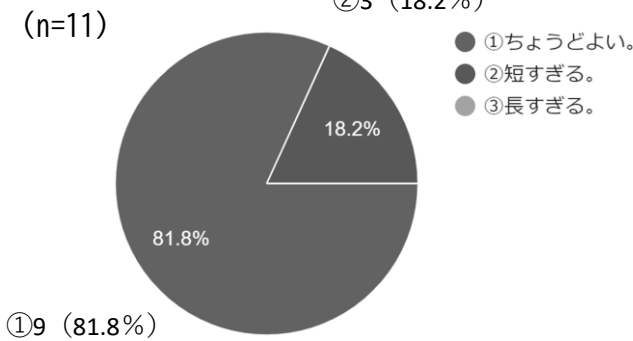
1. 該当するものにチェックをいれてください。（n=11）



2. 御校の分野を選択ください。（n=11）



3-1. 1回30分の時間はいかがでしたでしょうか？



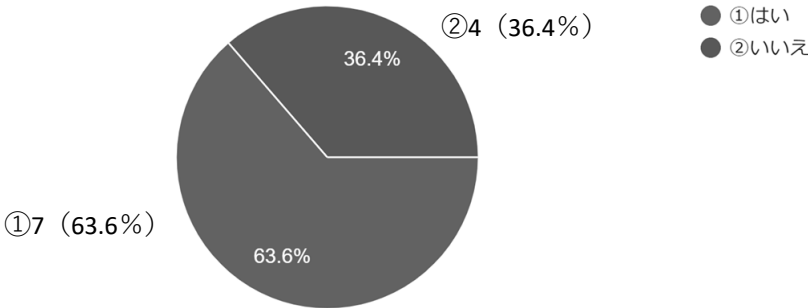
3-2. 「②短すぎる」「③長すぎる」と回答した方にお伺いします。

都合がよい時間をお聞かせください。

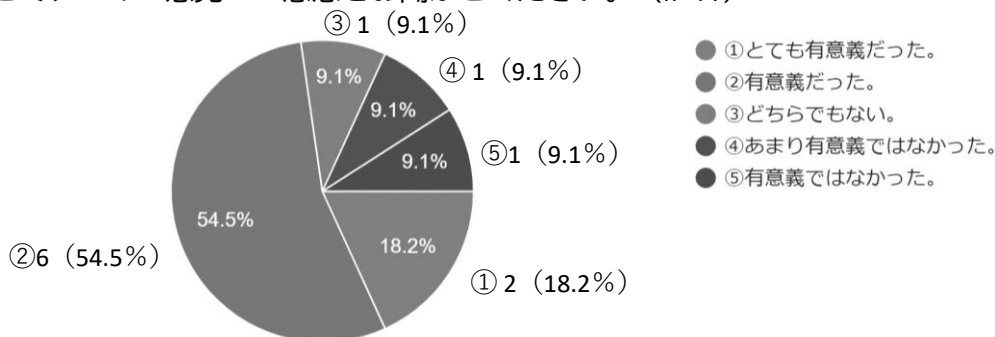
(n=2)

- ・ 45分(企業説明30分弱 残り質疑応答)
- ・ 質疑応答時間が短い。今回2022年3月卒留学生採用についてお聞きしようと思いましたが、留学生採用は次年度からということなので質問数が減りましたので、特に時間的には問題はありませんでしたが・・・。

4. 貴校が希望する企業と「つながる」ことができましたか？ (n=11)



5. 本セミナーのご意見・ご感想をお聞かせください。（n=11）



6. 今後も企業就職セミナーを実施予定です。貴校が希望するセミナーのテーマや実施してほしいイベントなどがありましたら具体的にご記入ください。（n=7）

- ・外国人留学生と福祉法人との連携
- ・留学生が必要とする企業の見つけ方、売り込みの仕方を教えます
- ・特定技能ビザで就職可能な企業セミナー
- ・この企画については今までになかった企業と専門学校がつながる意義のある企画だと思います。継続してほしい。
- ・ファッション系が無く、参加しなかった。
- ・モチベーション向上対策のセミナーを希望します。
- ・今回のように1社ずつつながることができるのは本当によかったと思います。また、業種別でのセミナーも希望します。その場合1社ずつですとお話聞けない会社様が増えますので、数社ずつ同じルームでのセミナーにしていだけたら有難いです。

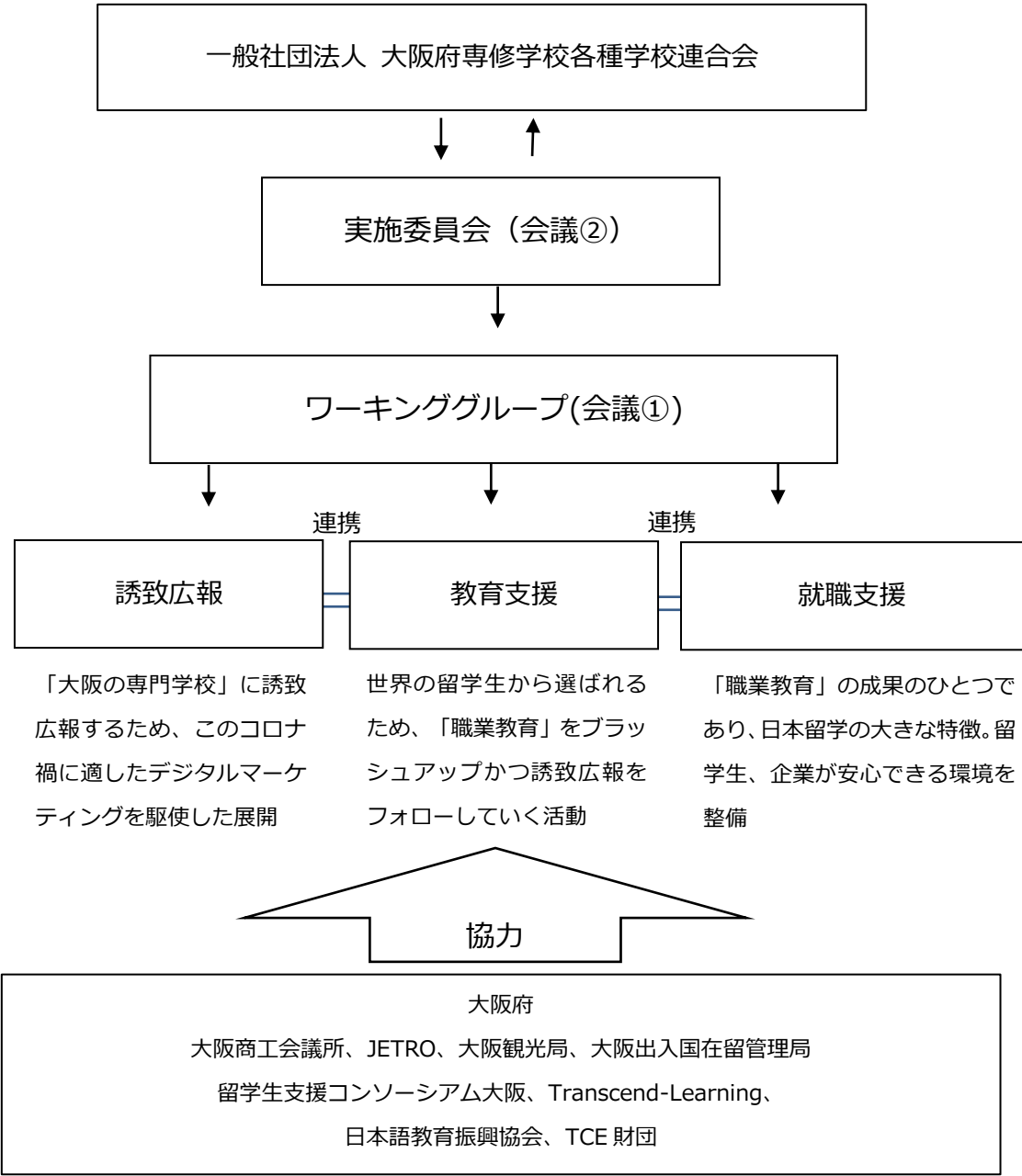
7. 本セミナーについてのご感想・ご意見・ご要望などを具体的にお聞かせください。

（n=8）

- ・国家戦略特区によって理美容系外国人留学生に就職の道が開かれたのは知りませんでした。今後も国の動向を注視していきます。
- ・時間構成は上記に記載させていただきました。参加企業数を増やしていただけますと有難いです。また、留学生採用として特化したセミナーですので、事前に企業の留学生採用枠や希望されていられる条件など閲覧できると、学生とのマッチング資料として活用させていただきます。
- ・圧倒的に企業数が少なすぎます。当初100社の予定がなぜ9社になったのか？期待外れではありました。介護系は介護ビザにより就職については比較的不安はないが、やはりビジネス系はどうしても就労ビザの許可可能性を探る意味でも職種等について企業との擦り合わせも必要であり、その部分が今回のセミナーでは残念ながら期待通りではありませんでした。
- ・連絡先交換のとき、お話を聞きながらチャットで送るのがうまくできず困りました。名刺の画像データをチャット内に送ることが可能なようですが、それもできませんでした。次回できるよう練習しておきます。
- ・参加企業が分かるのが遅かったので、もっと早く教えてほしいです。
- ・ファッション系の企業も参加して欲しかった。
- ・留学生の就活について勉強になりました。
- ・今回は貴重なお時間を遠方のわたくし共にも開放していただき誠にありがとうございました。

第2章：個別事業の実施内容

4. 事業の実施体制
(1) 実施体制



第2章：個別事業の実施内容

(2) 構成機関等

①教育機関

(順不同)

	名称	役割等	都道府県名
1	ECC国際外語専門学校	企画・説明・実施	大阪府
2	上田安子服飾専門学校	企画・説明・実施	大阪府
3	エール学園	企画・説明・実施	大阪府
4	大阪工業技術専門学校	企画・説明・実施	大阪府
5	大阪コミュニティワーカー専門学校	企画・説明・実施	大阪府
6	大阪総合デザイン専門学校	企画・説明・実施	大阪府
7	大阪調理製菓専門学校	企画・説明・実施	大阪府
8	大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA	企画・説明・実施	大阪府
9	大阪バイオメディカル専門学校	企画・説明・実施	大阪府
10	大阪文化国際学校	企画・説明・実施	大阪府
11	大阪ベルェベル美容専門学校	企画・説明・実施	大阪府
12	大阪YWCA専門学校	企画・説明・実施	大阪府
13	大阪YMCA国際専門学校	企画・説明・実施	大阪府
14	関西外語専門学校	企画・説明・実施	大阪府
15	関西経理専門学校	企画・説明・実施	大阪府
16	近畿社会福祉専門学校	企画・説明・実施	大阪府
17	修成建設専門学校	企画・説明・実施	大阪府
18	清風情報工科学院	企画・説明・実施	大阪府
19	中央工学校OSAKA	企画・説明・実施	大阪府
20	日本メディカル福祉専門学校	企画・説明・実施	大阪府
21	森ノ宮医療学園専門学校	企画・説明・実施	大阪府
22	ホーチミン市師範大学	企画・説明・実施	ベトナム

②企業・団体

(順不同)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	清水 尚道	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会 理事長	実施委員長	大阪府
2	興津 厚志	大阪商工会議所人材開発部長	事業協力・助言	大阪府
3	國守 正二	大阪観光局 留学生支援推進室 留学生支援・ 教育旅行 学校交流コーディネーター	事業協力・助言	大阪府
4	根本 裕之	日本貿易振興機構大阪本部長	事業協力・助言	大阪府
5	吉田 圭輔	一般社団法人 Transcend-Learning理事・事務局長	事業協力・助言	大阪府

③行政機関

(順不同)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	国領 敬	大阪府教育庁私学課専各振興グループ 課長補佐	事業協力・助言	大阪府

第2章：個別事業の実施内容

(3) 構成員等

①実施委員会構成員

(順不同)

	氏名	所属・役職
1	清水 尚道	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 理事長 森ノ宮医療学園専門学校 理事長
2	興津 厚志	大阪商工会議所人材開発部長 大阪企業家ミュージアム事務局長
3	國守 正二	大阪観光局 留学生支援推進室 留学生支援・教育旅行 学校交流コーディネーター
4	根本 裕之	日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部長
5	国領 敬	大阪府教育庁私学課専各振興グループ課長補佐
6	吉田 圭輔	一般社団法人 Transcend-Learning 理事・事務局長
7	カオ・レ・ユン・チー	国立ホーチミン市師範大学 日本語学部学部長
8	富永 桂多	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 担当副理事長 関西外語専門学校 理事長
9	山下 裕貴	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 修成建設専門学校 理事長
10	上田 哲也	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 副委員長 大阪総合デザイン専門学校 理事長
11	長谷川 恵一	エール学園 理事長
12	木村 泰一	ECC国際外語専門学校 留学生センター長
13	村川 秀夫	大阪調理製菓専門学校 校長
14	吉岡 健一	大阪コミュニティワーカー専門学校 校長
15	鍛冶田 千文	大阪YMCA国際専門学校 校長
16	中森 健裕	日本メディカル福祉専門学校 副学園長

②ワーキングメンバー構成員

(順不同)

	氏 名	学 校 名
1	富永 桂多	関西外語専門学校
2	上田哲也	大阪総合デザイン専門学校
3	山下 裕貴	修成建設専門学校
4	平岡 憲人	清風情報工科学院
5	古畑 和彦	
6	長谷川 恵一	エール学園
7	萩原 大作	
8	瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校
9	瓶井 通	
10	白石 一幸	ECC国際外語専門学校
11	鈴木 えみ	大阪YMCA国際専門学校
12	小島 賢久	森ノ宮医療学園専門学校
13	宗田 宜士	大阪工業技術専門学校
14	中山 羊奈	大阪YWCA専門学校
15	岡田 智幸	近畿社会福祉専門学校
16	枅 豪司	
17	岡 猛	大阪文化国際学校
18	山野 昌一	大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA
19	木谷 秀次	大阪バイオメディカル専門学校
20	藤田 靖	中央工学校OSAKA
21	五十嵐 世騰	修成建設専門学校
22	重田 大	大阪ベルェベル美容専門学校
23	前野 晃久	関西経理専門学校
24	山田 裕之	大阪総合デザイン専門学校

③事業実施協力機関

(順不同)

事業実施協力機関
大阪府
大阪商工会議所
日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部
大阪観光局
一般社団法人Transcend-Learning
国立ホーチミン市師範大学
日本語教育振興協会
一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
株式会社アクセスステージ
株式会社WAVE

第2章：個別事業の実施内容

④担当事業別構成員

(順不同)

〈A〉誘致広報

	氏名	所属・役職
1	宗田 宜士	大阪工業技術専門学校
2	上田 哲也	大阪総合デザイン専門学校
3	長谷川 恵一	エール学園
4	瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校
5	古畑 和彦	清風情報工科学院
6	重田 大	大阪ベルェベル美容専門学校
7	五十嵐 世騰	修成建設専門学校
8	山田 裕之	大阪総合デザイン専門学校

〈B〉教育支援

	氏名	所属・役職
1	白石 一幸	ECC国際外語専門学校
2	富永 桂多	関西外語専門学校
3	岡 猛	大阪文化国際学校
4	中山 羊奈	大阪YWCA専門学校
5	柘 豪司	近畿社会福祉専門学校
6	平岡 憲人	清風情報工科学院
7	鈴木 えみ	大阪YMCA国際専門学校

〈C〉就職支援

	氏名	所属・役職
1	山下 裕貴	修成建設専門学校
2	萩原 大作	エール学園
3	小島 賢久	森ノ宮医療学園専門学校
4	木谷 秀次	大阪バイオメディカル専門学校
5	前野 晃久	関西経理専門学校
6	岡田 智幸	近畿社会福祉専門学校・医療法人健和会 奈良東病院
7	山野 昌一	大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA
8	藤田 靖	中央工学校osaka
9	瓶井 通	日本メディカル福祉専門学校

第2章：個別事業の実施内容

(4) 会議の開催と連携・協力体制

①実施委員会（2回）の開催

- ・2021年7月21日（水） ・2022年2月18日（金）

大阪の専修学校（主に専門学校）の魅力を国内外へ向けて発信するうえで、留学生の生活や就職といった面でも高い成果を求めていくことが必須である。そのために本事業大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2021では、産官学の連携強化をし、前述の〈A〉誘致広報（入学前）、〈B〉教育支援（在学中[教育指導、生活支援サポート]）、〈C〉就職支援（就職支援等）へ企業・行政等と連携・実務協力を得るために、以下に記した団体を招集し実施委員会を開催した。また、最終段階でのA) 誘致広報（入学前）、〈B〉教育支援（在学中[教育指導、在籍管理、生活支援サポート]）、〈C〉就職支援（就職支援等）内容の確認、修正と経過報告および今後の発展・活用について意見聴取を行った。

②ワーキング会議（6回）の開催

- ・第1回2021年7月21日（水） ・第3回2021年10月21日（木） ・第5回2022年12月17日（金）
- ・第2回2021年8月26日（木） ・第4回2021年11月19日（金） ・第6回2022年2月18日（金）

事業実施のための現状把握、課題の共有を行い、各事業の構成について議論するための会議を開催した。

③連携・協力体制（順不同）

【大阪府】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、行政の面からの協力及び助言を頂いた。

【大阪商工会議所】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、大阪の企業への周知と呼びかけの協力を得た。

【日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、企業の要望・留学生受入れの傾向など協力及び助言を頂いた。

【大阪観光局】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、広報面からの協力を頂いた。
また大専各として、「留学生支援コンソーシアム大阪」の会合に参加した。

【一般社団法人 Transcend-Learning】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、就職支援の協力及び助言を頂いた。

【国立ホーチミン市師範大学】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、誘致広報（出前授業）の協力及び助言を頂いた。

【日本語教育振興協会】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、誘致広報、教育支援の協力及び助言を頂いた。

【一般財団法人職業教育・キャリア教育財団(以下、TCE財団)】

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、協力・連携した。

令和３年度文部科学省委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備
大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2021
成果報告書

発行日 令和４（2022）年2月 第1版
受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
住所 〒534-0026大阪市都島区網島町6番20号大阪私学教育文化会館内
TEL：06-6352-0048 FAX：06-6352-7553

大専各公式サイト
<http://www.daisenkaku.or.jp/>



大専各留学生支援サイトTOP
<https://study-osaka.com/>



